認知症ケアに役立つ
大分市の風景今昔

大分県中部保健所 副所長　森本 卓哉

2025年5月13日 大分ロータリークラブ例会 日航オアシスホテル

自己紹介

大分市元町生まれ。大分市立金池小学校、上野ヶ丘中学、大分上野丘高校、大分医科大学医学部卒業。同 臨床薬理センター准教授を経て、平成25年（2013年）より自衛隊予備医官となり、豊後大野市と佐伯市で内科、認知症診療に従事。令和6年（2024年）より大分県中部保健所副所長。上野丘高校と大分大学のアーカイブルームの資料展示とパネルの作成を支援している。

大分上野丘高校同窓会館 アーカイブルーム

大分大学経済学部百周年記念アーカイブルーム

オックスフォード辞典編集に参加
戦前、大分で教諭務める
言語学者ホーンビー顕彰
森本さん 集めた資料公開

2018年1月5日　毎日新聞

絵葉書で見る百年前の大分と佐伯
あす講演会
変わる大分 景観残る佐伯
後世に伝えたい風景は…

2021年2月29日　毎日新聞

私の世代は、昔の風景のロストジェネレーション？

祖母から聞いた大分県女子師範学校の美しい風景（戦災で焼失）

桜のトンネル

ロストジェネレーション ＝ 失われた世代 Lost Generation

私は50代で、小説の「半沢直樹」と同じ世代（団塊世代の子供、バブル世代、X世代 = 青年期がインターネット黎明期）です。明治大正生まれの祖父母や郷土の先輩から伺った昔の風景を後の世代に伝える『恩返し』ができればと思っています。

宗麟の家臣
豊後大野出身、戸次道雪ら3人

戦国の世に学ぶ「若者の育て方」

戦国大名・大友宗麟の家臣として活躍した戸次（立花）道雪、高橋（吉弘）紹運、立花宗茂の3人の功績をたどる集いが27日午後2時から、豊後大野市三重町の市中央公民館で開かれる。「3人の生き方を現代社会に反映したい」と願う地元有志が主催する。入場無料。

道雪は1513年、市内大野町の山中で生まれた。宗麟の命で九州北部を転戦後、現在の福岡県新宮町付近にあった立花山城の城主として、近くの城主だった紹運と共に地域を治めた。紹運の息子の宗茂は道雪の養子になり、福岡柳川藩の初代藩主として今も福岡県柳川市民から道雪と共に親しまれている。

戸次道雪の生家があったとみられる豊後大野市大野町を地図で確認する地元有志

きょう功績たどる集い

有志は事務局を務める医師の森本卓哉さん(46)＝三重町＝ら3人。当日は、長年道雪の顕彰活動を続けてきた佐伯和光さん(69)＝大野町＝が、その活動について基調講演。郷土史家の芦刈政治さん(87)＝三重町＝が柳川藩の古文書などを通じて、道雪が生まれた屋敷があった場所について考察する。

メンバーは道雪らをテーマにした大河ドラマの実現を目指して、その功績や古文書の解読文などをインターネットで紹介したり、紹運が生まれた豊後高田市や柳川市との交流などを始める予定。森本さんは「道雪は部下の意見をよく聞き、信頼を集めて強固な軍団をつくったといわれる。若者を育てる良き見本としてその生き方を社会に伝えていきたい」と話した。（庄亨）

2015年6月27日　大分合同新聞

大分大学生諸君 ホーンビーを知ってますか？

創立100年 草創期に英語を指導

大分大学経済学部（大分市旦野原）の前身の大分高等商業学校（大分高商）で授業が始まって今年で100年がたった。その創立間もない時期に、後に有名な英語辞書「オックスフォード現代英英辞典」を編さんした英国人、アルバート・シドニー・ホーンビーが英語を教えたことはあまり知られていない。

大学は100周年記念事業の一環として経済学部棟にアーカイブルームを設置し、ホーンビーなどを紹介するパネル展示をする。

同大学経済学部によると、大分高商は1921年暮れに大分市上野丘に開学し、22年4月から授業を始めた。戦争中の被災は免れたが、現在地に移った69年前後に多くの資料が失われたという。

郷土史愛好家で、大分高商時代の資料を集めていた同大学卒業生で佐伯市の西田病院内科部長の森本卓哉さん(53)は、ホーンビーの業績にかねて注目していた。森本さんは「ホーンビー先生が大分で勤務していたことが忘れられているのは寂しい」と語る。

同学部はアーカイブルームの展示物を検討中に森本さんの調査に注目し展示の目玉として資料の提供を求め、森本さんが快諾した。

大分高等商業学校に勤務していた当時のホーンビー＝森本さんが所蔵する第2期生の卒業アルバムから

森本さんによると、ホーンビーは1898年生まれ。ロンドン大学を卒業後、大学の人事委員会の仲介で、創立されたばかりの大分高商に1924年に着任して33年まで勤務した。その後は上京して東京高等師範学校（現在の筑波大学）、東京外国語学校（現在の東京外国語大学）で教べんを執った。

勤務の傍ら、学習者向けの英語辞書の編さんを中心となって手がけ、42年に「新英英大辞典」（開拓社）を出版した。戦時中にもかかわらず1万部の印刷用紙が確保されたという。

ホーンビーは「敵国人」として収容所生活を経て同年10月に日英交換船で帰国した。持ち帰った新英英大辞典のゲラ刷りを元に48年に出版するとベストセラーになった。その後オックスフォード大学出版局からオックスフォード現代英英辞典として出版され、現在も世界中で使われている。

大分高等商業学校の教壇に立つホーンビー＝第2期生の卒業アルバムから

「オックスフォード現代英英辞典」の原本出版

森本さんは、26年の第2回卒業生の卒業アルバムにホーンビーが寄せた激励文、28年に執筆した英語教科書「日本地理問答」の英語例文などを写真とともにA1サイズのパネル5枚にまとめた。留学生向けに英語版も作った。

大分大は記念行事として25日午後1時半から記念式典、同3時半から作家、安部龍太郎氏の講演会を、いずれもiichiko総合文化センター・音の泉ホールで実施する。アーカイブルームでは、ホーンビーが日本で出版した新英英辞典の実物や大分高商の卒業アルバムなど、森本さんが収集した資料も展示する。

同大学の高見博之経済学部長は「ホーンビーのことはまったく知らなかった。森本さんにいくら感謝してもしきれない。草創期にそんな教師がいたことを学生に知らせることで、英語の学習意欲が高まることを期待する」と話した。【衛藤親】

OXFORD Advanced Learner's DICTIONARY 現代英英辞典

ホーンビーが編さんした新英英辞典が元になったオックスフォード現代英英辞典

2022年6月14日　毎日新聞

認知症ケアの回想法

回想法とは、米国の精神科医で老人医学の創始者であるロバート・バトラー（Dr. Robert Butler）が提唱した、高齢者のお話を傾聴して、情緒の安定や意欲向上を引き出す方法。特に少年時代（10～15歳）の思い出を語ってもらうことが効果が高いとされる。

豊田寛治編集、森本卓哉ら共著「写真アルバム　大分市の昭和」樹林舎 2016 年

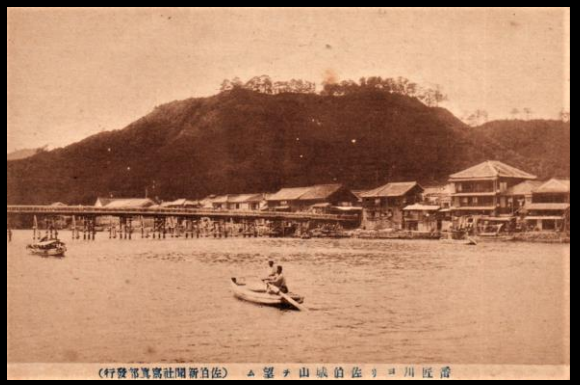
心を癒し、世代をつなぐ回想法
～戦前の大分の絵葉書を中心に～

よみがえる記憶
窓辺の木漏れ日
大分市の得丸ハルノさん
「回想法」で表情豊かに
世代間の交流も促す

2017年12月25日 大分合同新聞

大分の郷土絵葉書を活用した回想法ケア

（1）山・海・川（数百年～千年単位）



（2）木（百年～数百年単位）

（3）街・学校・駅など（十年～数十年単位）

大分の郷土絵葉書の歴史

明治４年（1871年）日本で郵便事業開始
明治６年（1873年）官製の郵便葉書発行
明治33年（1900年）私製葉書が認可される
明治37年（1904年）日露戦争の写真絵葉書ブーム
　日本各地で写真絵葉書が作られる（※福岡の大崎周水堂は大正９年創業）
　別府で明治32年創業の**萩原写真局（萩原号）**や、**和田成美堂**が観光絵葉書を制作

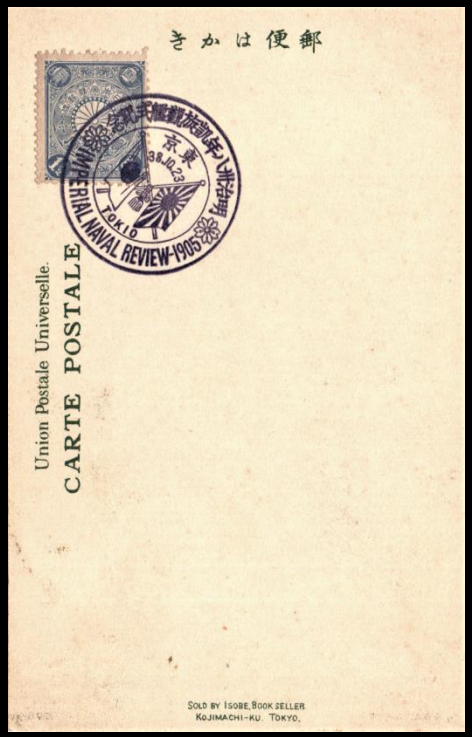
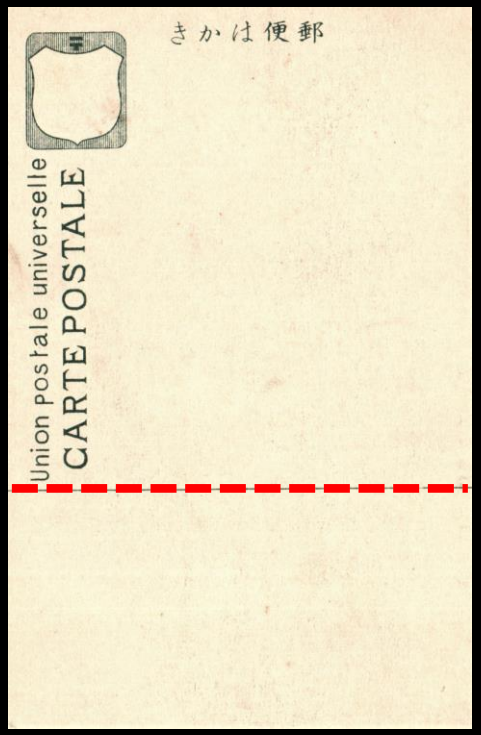
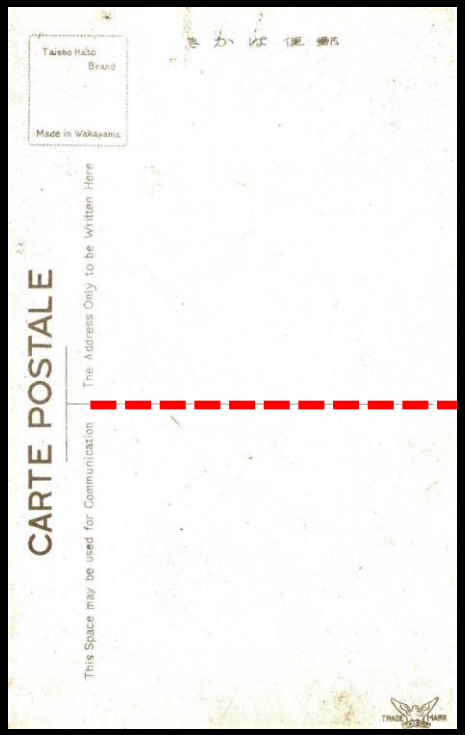
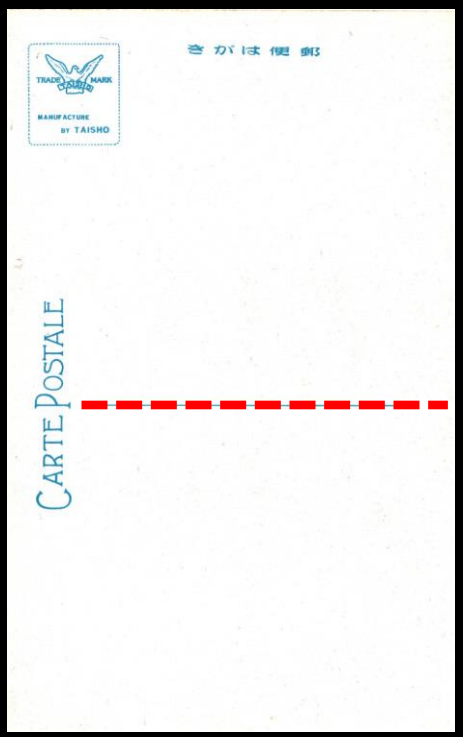
明治40年（1907年）嘉仁親王（大正天皇）の大分行啓を記念した絵葉書が作られる

明治後期～大正期
　大分では**大分碩田号・大分審美堂・中山写真館・文化屋書店・宮崎書店**などが
　地元の写真絵葉書を製作　大分ドイツ俘虜収容所向けのドイツ語絵葉書も作られる

昭和前期　**大正写真工芸所**（和歌山県）が絵葉書シェア拡大　高度な写真技術を持ち、
別府や熱海に加えて朝鮮や満州に進出　大正期に大分県各地で撮影された写真も継承

昭和20年（1945年）7月9-10日、和歌山空襲で大正写真工芸所が壊滅
同年7月16-17日の大分空襲で市街の大半が焼失。

郷土絵葉書の作成時期

明治40年以前	明治40～大正7年	大正7～昭和8年	昭和8～20年
			
通信欄なし	通信欄３分の１	通信欄２分の１	きかは便郵 ↓ きがは便郵

写真なしでも可能な『エア回想法』

（１）小学校はどちらでした？

（２）学校は賑やかでしたか？

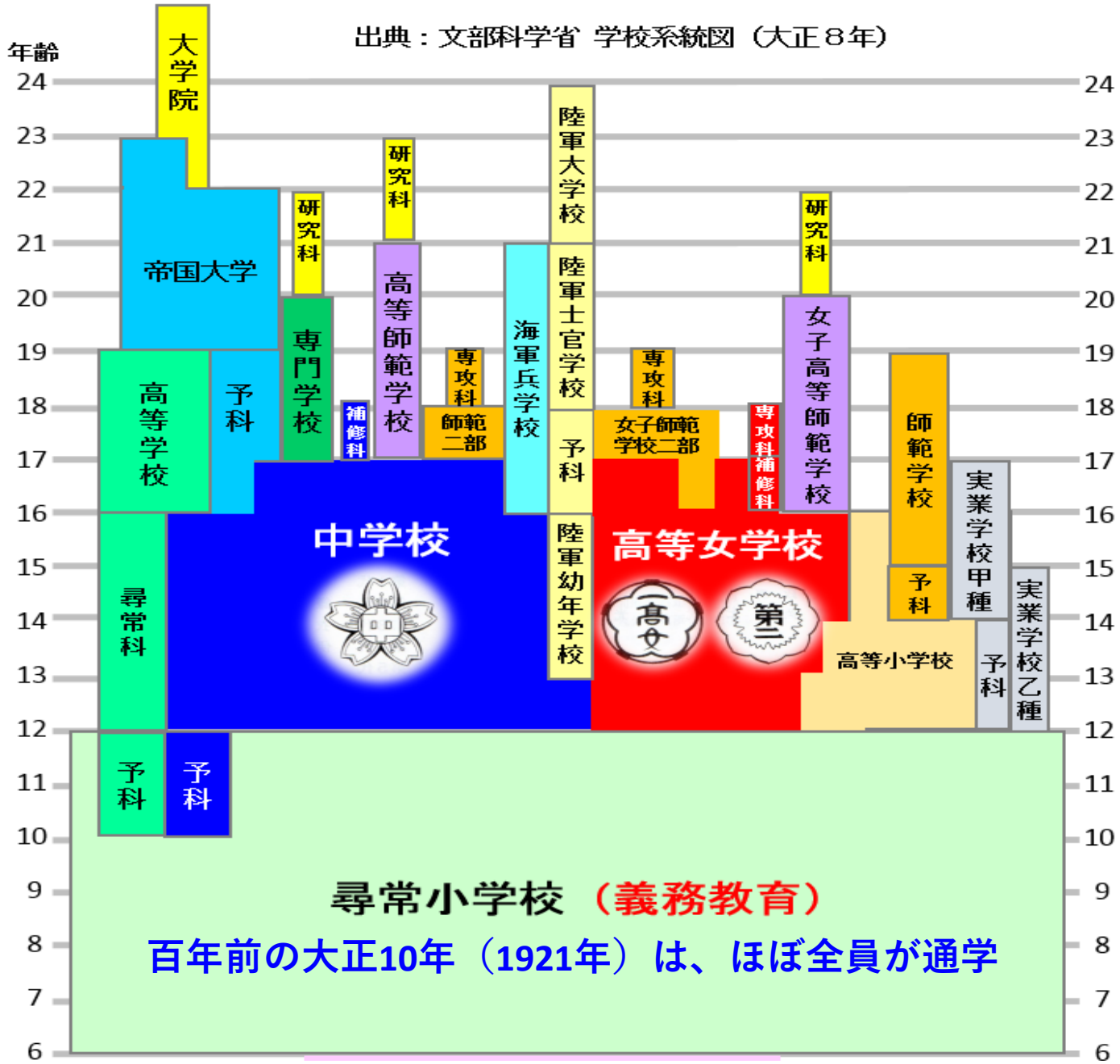
（３）学校に奉安殿はありましたか？

※ 昭和14年（1939年）以前に生まれた方に有効

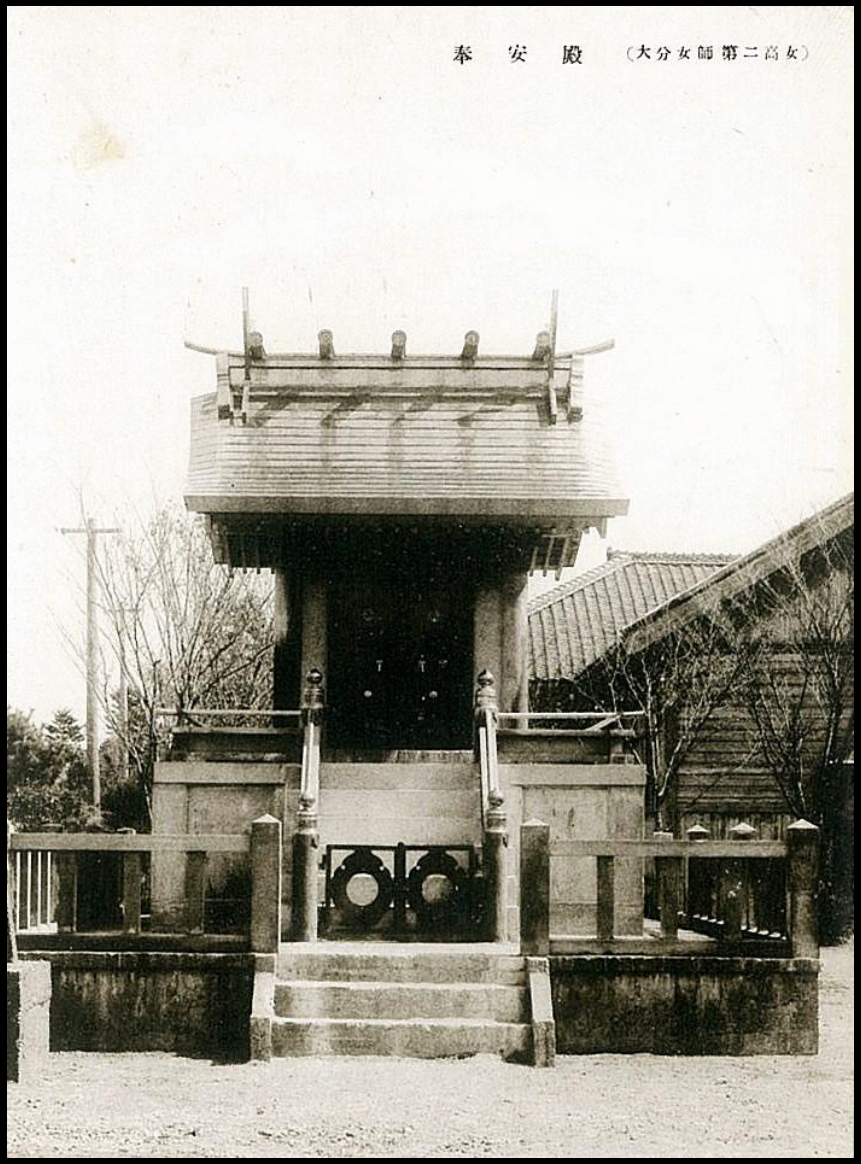
大在尋常小学校１年生の体操

直入郡入田尋常高等小学校の農園

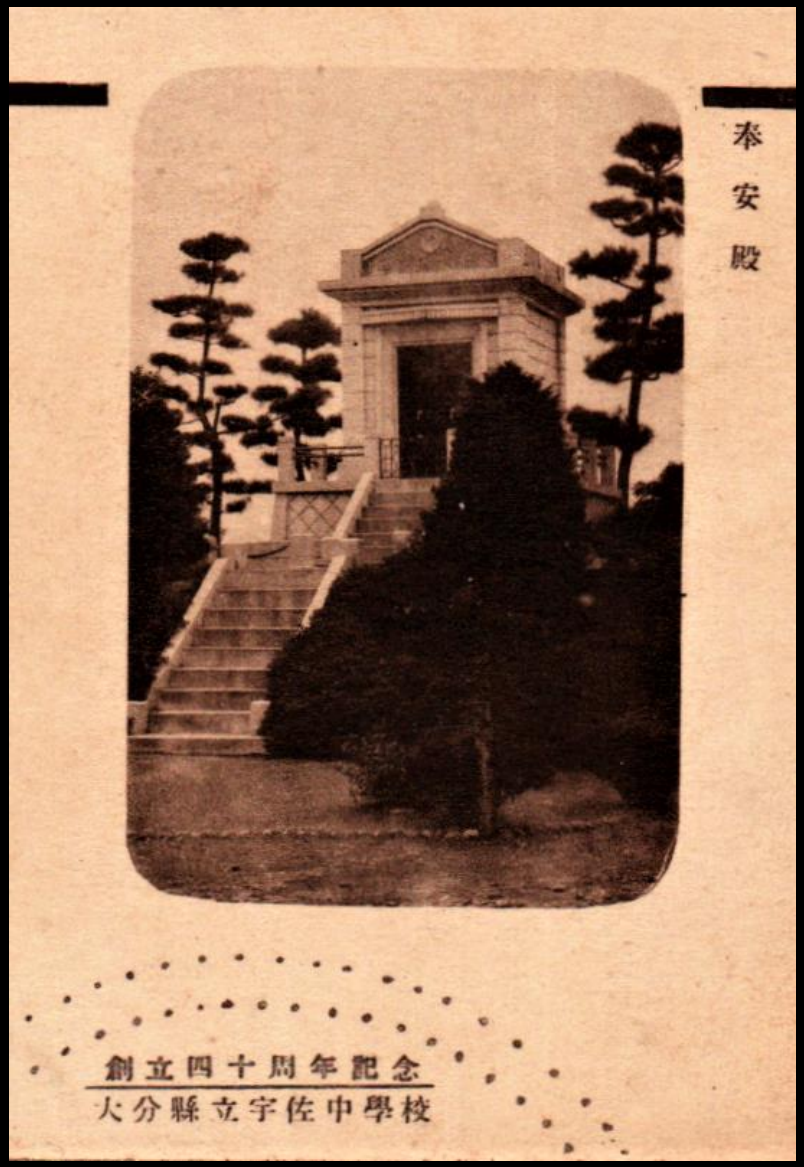
大正～昭和初期の学校系統図



奉安殿　昭和20年（1945年）まですべての学校に設置



大分県立女子師範学校・第二高等女学校



大分県立宇佐中学校

おおいた歴史 OITA HISTORY

https://www.miekinen.com

- ホーム
- みえ記念病院日誌（ブログ）
- 回想法に役立つ大分風景
- 大分医療方言集（豊肥・県南）
- 大分県女性医師の先駆者
- 卒寿菅井健治先生の絵本
- 豊後麻地酒と肥後麻地酒
- AS Hornby in Oita
- ホーンビー先生-in-oita
- 大分ドイツ俘虜収容所の絵葉書
- Postcards from Oita POW
- 高崎山から見た景観今昔
- 三重町のお店・宿泊施設

ホームページ訪問数
(2014.7.31~2021.4.17)
訪問者人数　235194
ページビュー　465876
via mobiles 34% ➡ 60%

当サイトは、大分県豊後大野市三重町の旧みえ記念病院（1989年三重診療所開院ら始まり、1998年に40床の総合病院として30年間診療を行った後、病院統合で2019年３月閉院）のホームページから、病院スタッフのブログと回想法ケアを行う管理人が作成した郷土史関連のページを残しております。今後も随時更新していきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

管理人　森本卓哉（医師・郷土史愛好家）拝　令和３年（2021年）4月20日

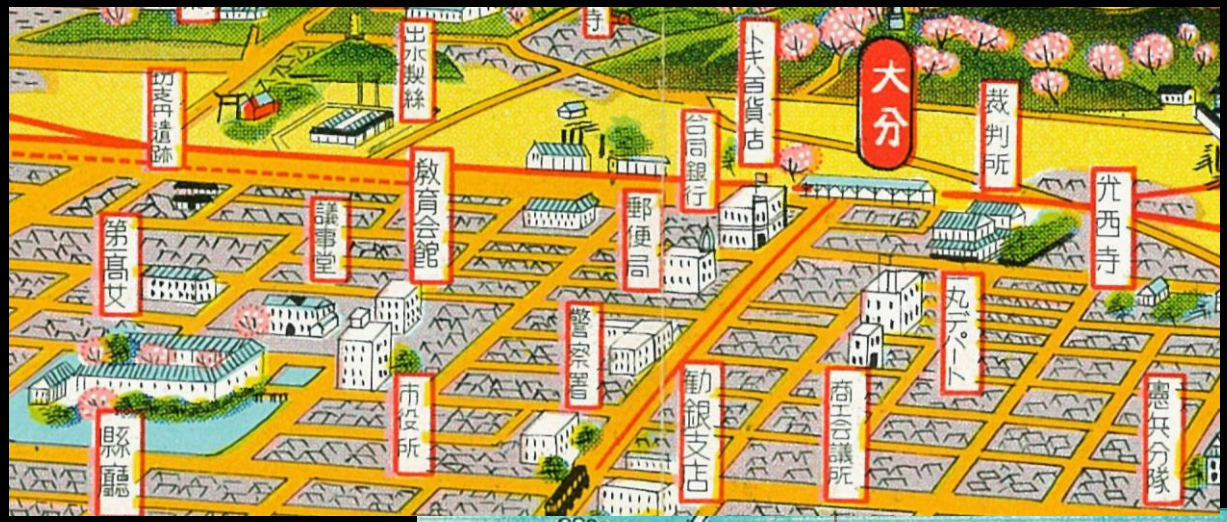
このページでは、ご高齢の患者さんとのコミュニケーションツールとして効果があることが知られている『回想法』の題材として、昔の大分の風景（明治～昭和前期）の古写真や絵葉書、地図を展示しております。ご興味のある方は御笑覧ください。大分市から順次、県内の地域をアップしていきます。（※無断転載はお断りいたします。）

（目次）

1　戦前の大分市地図と鳥瞰図
2　大分町・大分市遠景
3　府内城とその周辺（県庁・市役所・県会議事堂）
4　大分駅前
5　電車通り・トキハ百貨店
6　竹町通り・一丸百貨店
7　裁判所・病院・物産陳列場（後の大分県立工業学校）
8　柞原・春日浦・駄原・金池・南大分
9　上野ヶ丘（大分高商周辺）・古国府・元町
10　上野丘（旧大分中学・現 大分上野丘高校周辺）
11　大分第一高等女学校（旧 長池町・現 大手町）
12　大分県女子師範学校と大分第二高等女学校（長浜町）
13　大分川・舞鶴橋・新川・祓川
14　函嵐（かんたん）港から大分港へ
15　別府湾・高崎山からみた別府市街

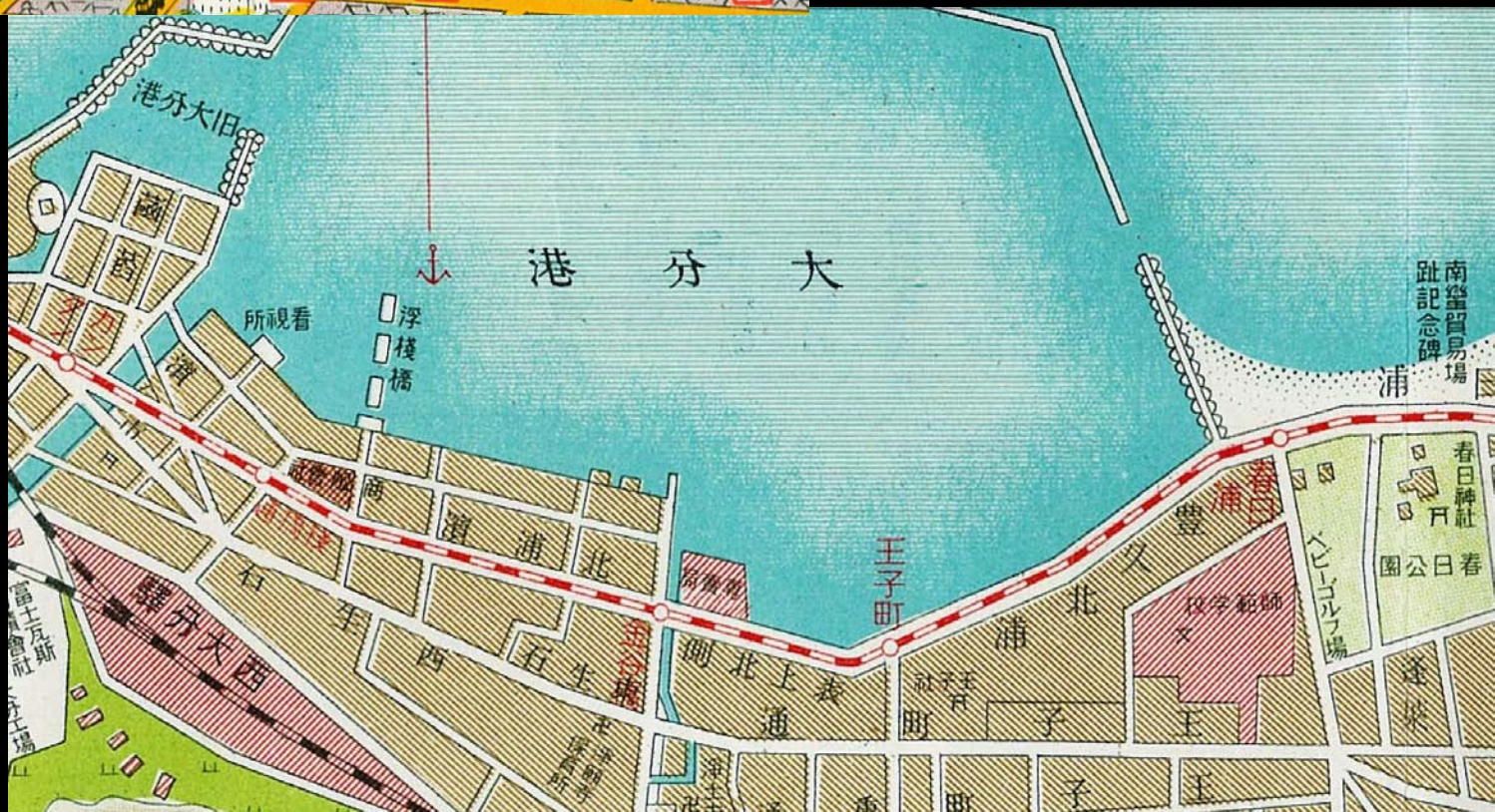
1.戦前の大分市地図と鳥瞰図

写真、地図はクリックで強拡大できるように設定



海陸四通八達の大分市
（昭和12年）

大分市街新地図（昭和８年）



大分市観光案内図　1936年（昭和11年）

大分港（菡萏港）と春日浦　明治期

かん たん

ŌITA HARBOR AT ŌITA.　大分　大分港

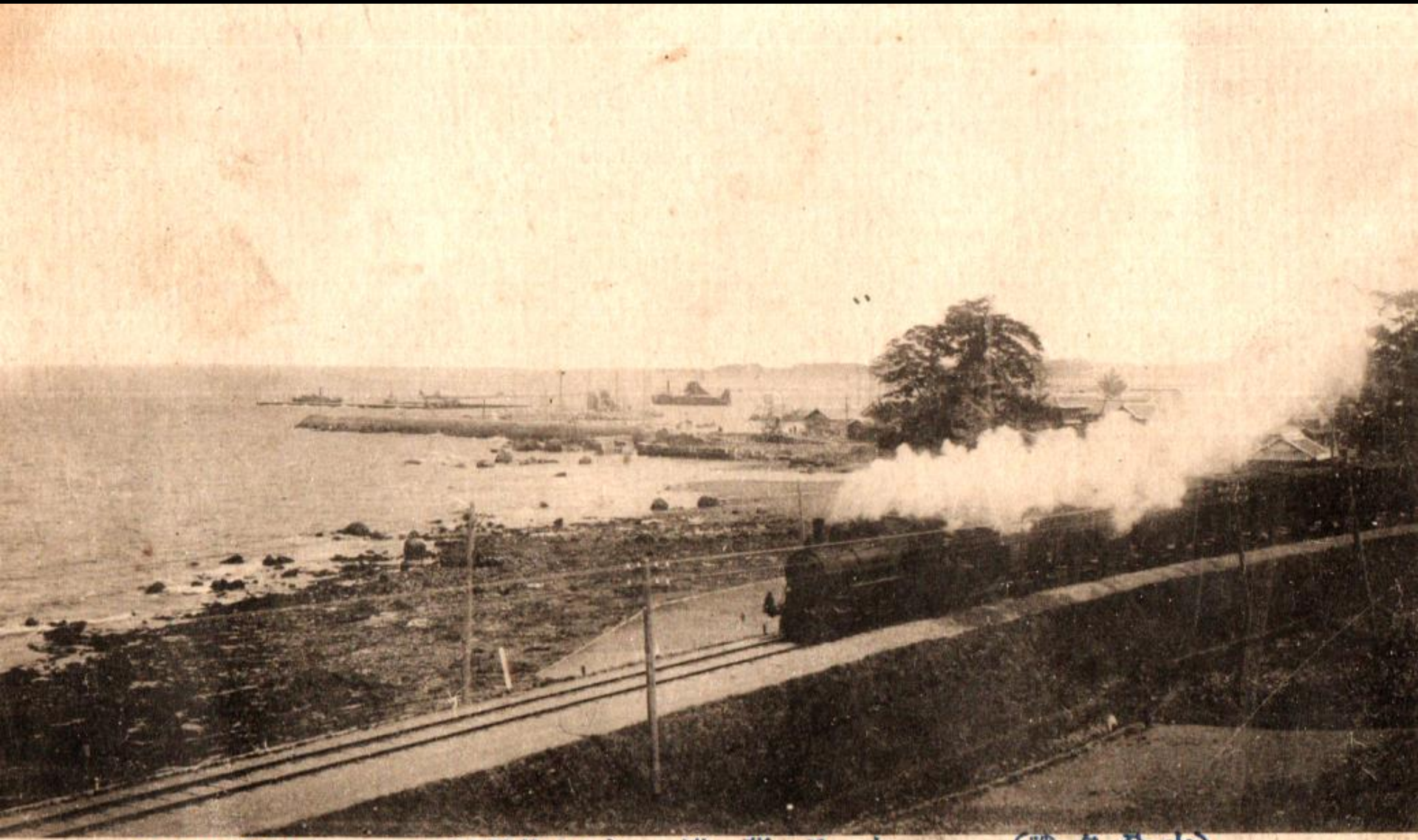
大分港（函碁港）と春日浦（AIによるカラー化）

現在の風景（大分市上白木からの眺望）

大分港付近を走る別大電車　明治後期

大分港付近を走る蒸気機関車　大正期

大分港付近を走る蒸気機関車　大正期



大分市菡萏の笠結(縫)島(明治後期)

(大分風景)　大分港(一名菡萏港)小島　(大分碩田号)　※明治41年9月1日消印

大分市菡萏（かんたん）の笠結（縫）島

豊後　菡萏港（別府附近）

大分市菡萏（かんたん）の笠結島（AIによるカラー化）

豊後　菡萏港（別府附近）

中世～近世に笠結（縫）島は府内随一の名所だった

文禄五年（一五九六年）八月　府主（早川長政）在府内城
問府之名所於府老人　答曰、生石浦有名島　云笠縫島
俗云生石小島　島廻百歩、高数（丸）　項有老松数株
遙望之　即似古制結頭笠　以故名笠結島
土御門院有笠結島之歌　是郡中名所也
主馬首（長政）聞之　即往而見笠云　（豊府聞書より）

何世海翁遺棄去　いつ誰が捨てたのか
傍汀漂泊竹皮簦　海辺に漂う竹皮の大笠
旅舟今古往来客　旅の舟で古今に通じる客あり
一聴其名笑首肯　その名を聴いて笑顔で頷く

早川長政（長敏）は、大友氏が改易された後の最初の府内領主。豊後慶長地震（一五九六年）の津波災害にも対応。関ヶ原合戦では後の佐伯藩主 毛利高政と共に西軍に属す。大阪の陣でも豊臣方に属し、真田信繁（幸村）の寄騎として奮戦した。

笠結（縫）島の現在

万葉歌碑

四極山　うち越え見れば笠縫の
島こぎかくる棚無し小舟
高市連黒人（飛鳥時代）

笠ゆひの島たちかくす朝霧に
いや漕ぎさかる棚無し小舟
土御門院（鎌倉時代）

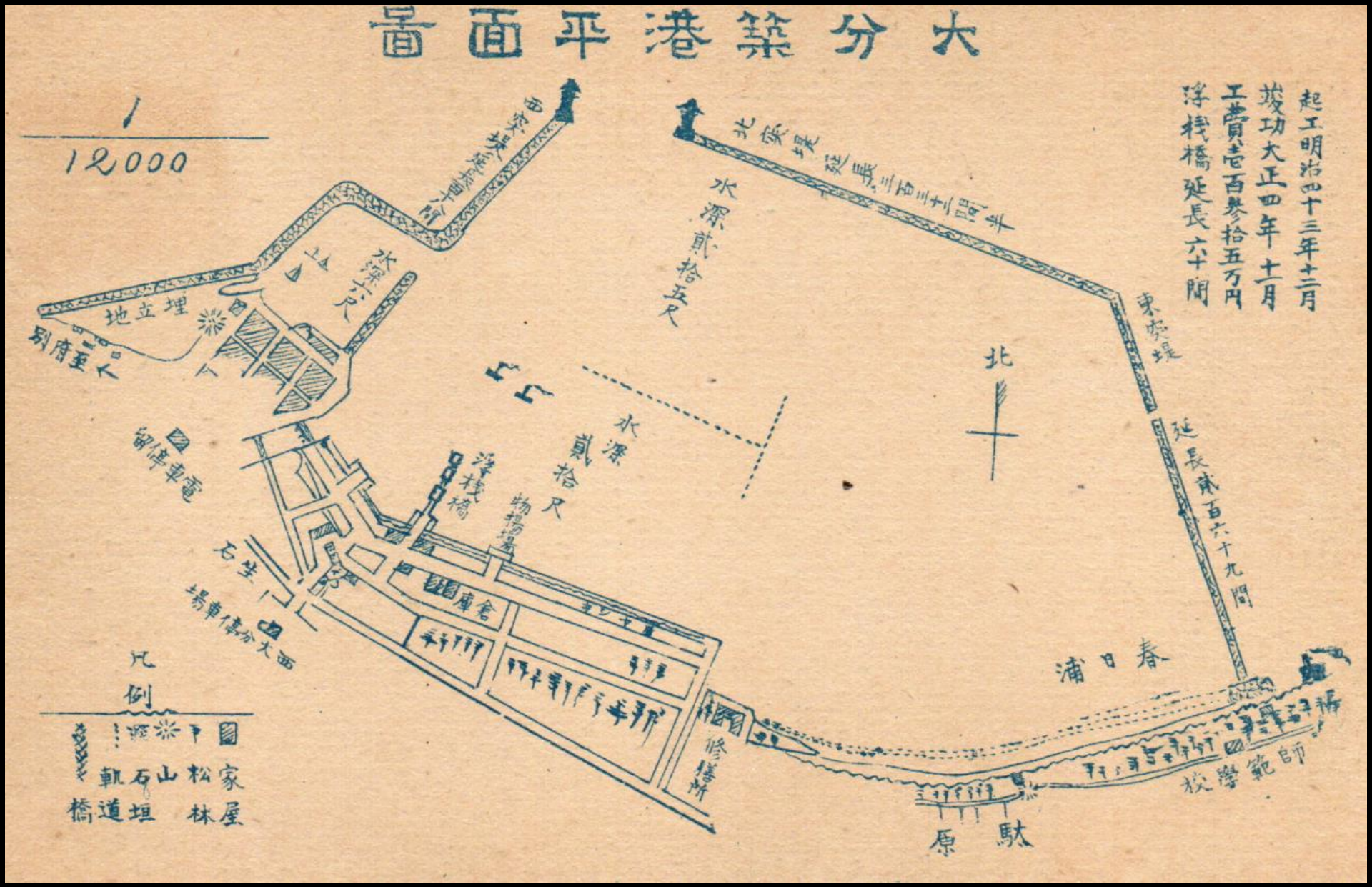
防波堤から見た大分港（旧菡萏港）

昭和初期の大分港

OITA PORT VIEWED IN AN EVENING,
THE FIRST OPEN PORT OF JAPAN, OITA
港易貿洋西の初最本日るな媚明光風 （勝名分大）
景夕の港菖菡分大（浦寺宮神元）

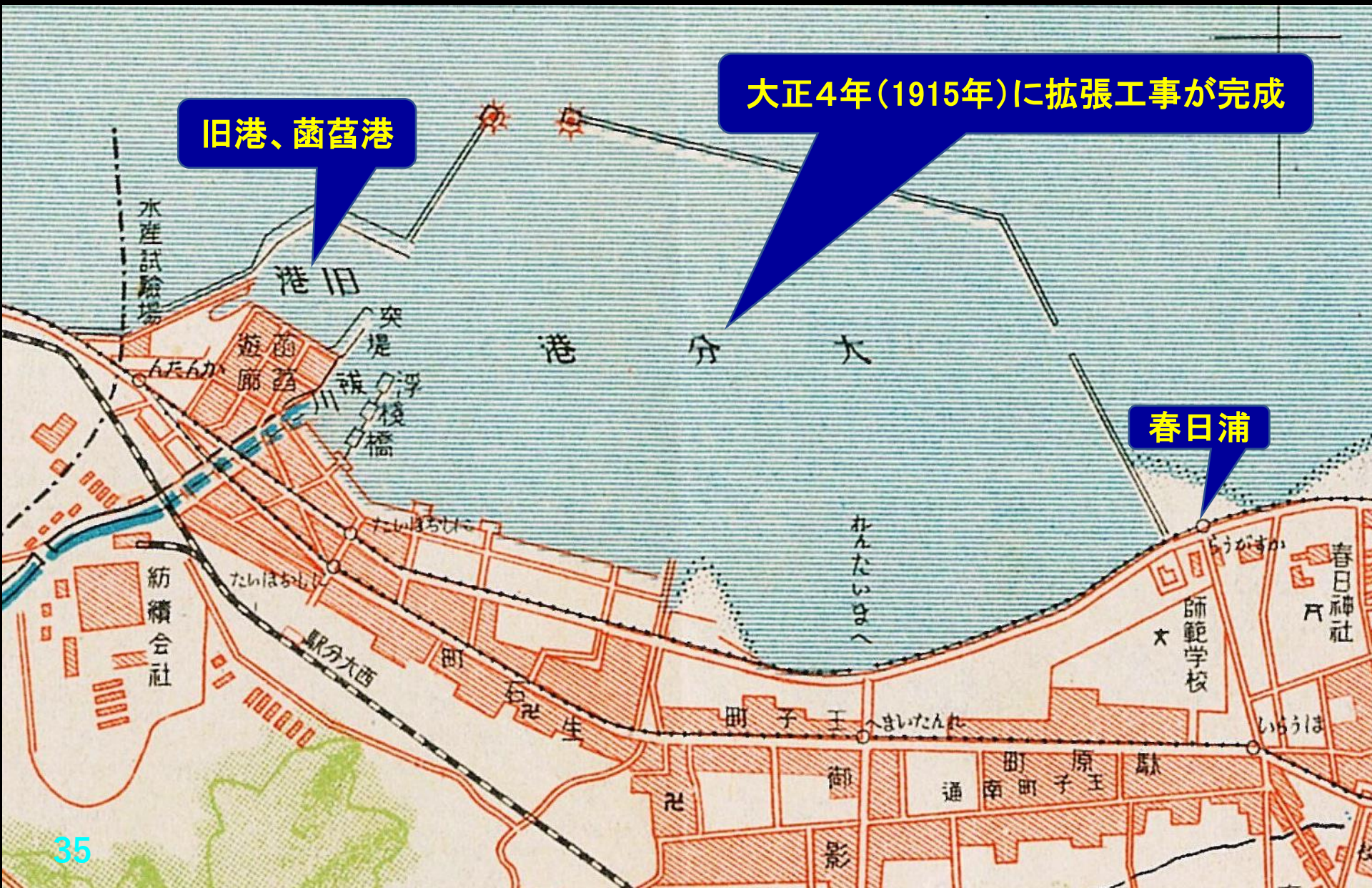
昭和初期の大分港（AIカラー化）

大分港の拡張整備工事（明治43年～大正4年）



大分築港平面図

大正14年（1925年）の大分市地図（毎日新聞）



拡張工事中の大分港（大正期）

拡張工事完成後の大分港

（大分名所）　大分港

（大分名勝） 築港の設備遺憾なき大分港の全景

VIEW OF PIER OF OITA PORT, OITA.
大分港桟橋の景 （大分名所）

Pier of Oita Port, Oita

「大分」大分港棧橋

大正五年築港完成して以來日々昔日の繁盛を取戻
して行つた大分港は市の西北隅にあり、中國四國に
連絡して物資の集散多く船舶の出入繁劇を極める。

『大分』大分港桟橋

現在の大分港

大分港に入港した『さんふらわあ ぱーる号』（1万1177トン 全長165.5m）

大分築港燈台

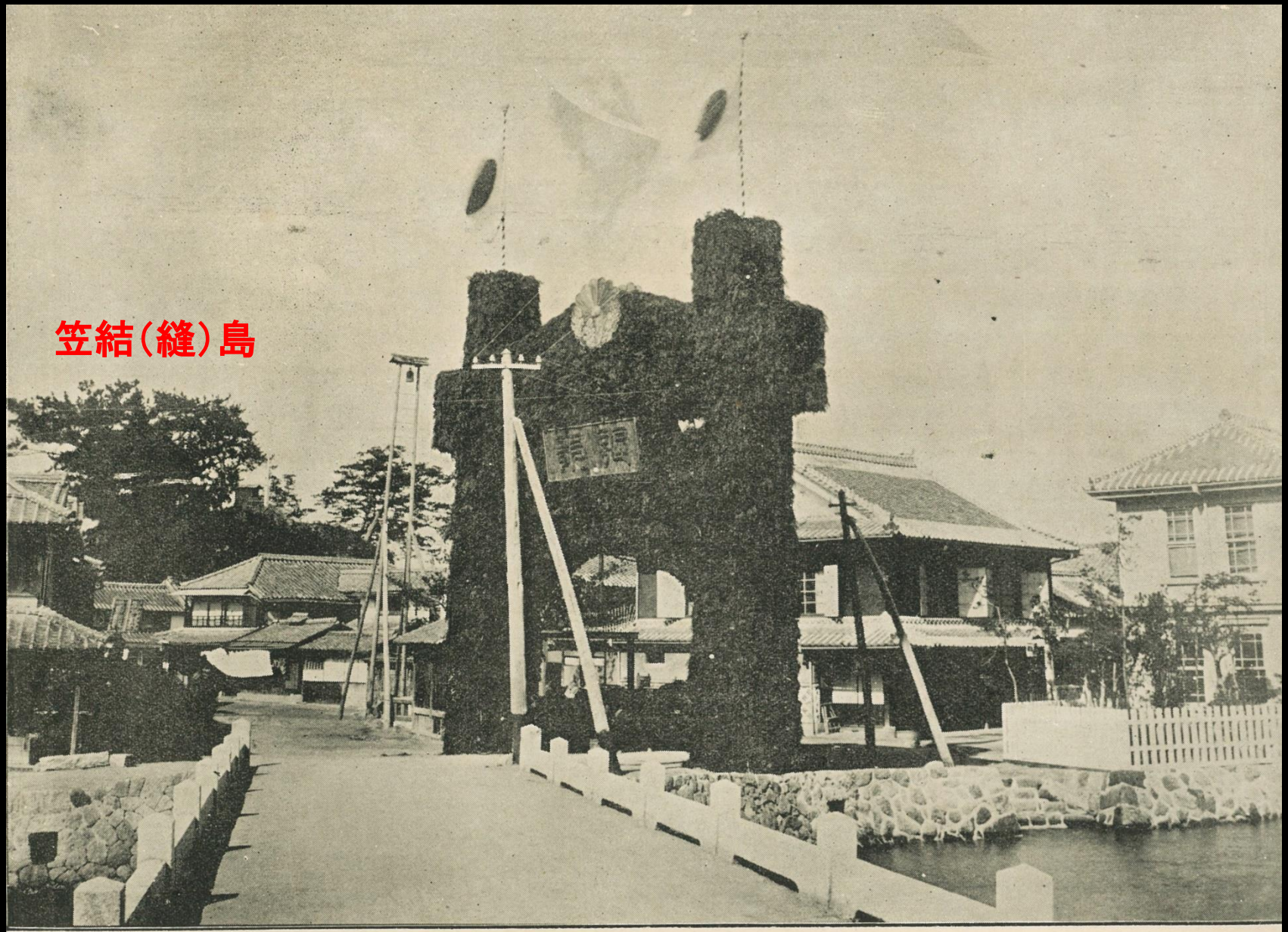
現在の白灯台

現在の赤灯台と白灯台

現在の大分港

大分港に接岸している 『さんふらわあ ぱーる号』(1万1177トン 全長165.5m)

大分港（菡萏港）に作られた奉迎門（大分行啓写真帖より）



御上陸地大分港

現在の瓜生橋

大分港（菡萏港）の豊後瓜生橋

現在の祓川と瓜生橋

春日浦 （明治40年）

春日浦　（明治40年）AIによるカラー化

春日浦 （明治40年）

春日浦 （明治40年）AIによるカラー化

春日浦での潮干狩り

春日浦での潮干狩り（AIによるカラー化）

大分駅附近から見た明治40年頃の大分町

大分郵便局

府内城 西南隅櫓

外 堀

裁判所（現在の大分駅前）

上野丘麓から見た大正期の大分市街

大分銀行、後の貯蓄銀行

二十三銀行（大分銀行赤レンガ館）

府内城 西南隅櫓

（勝名分大）　大分市街　（文化屋發行）

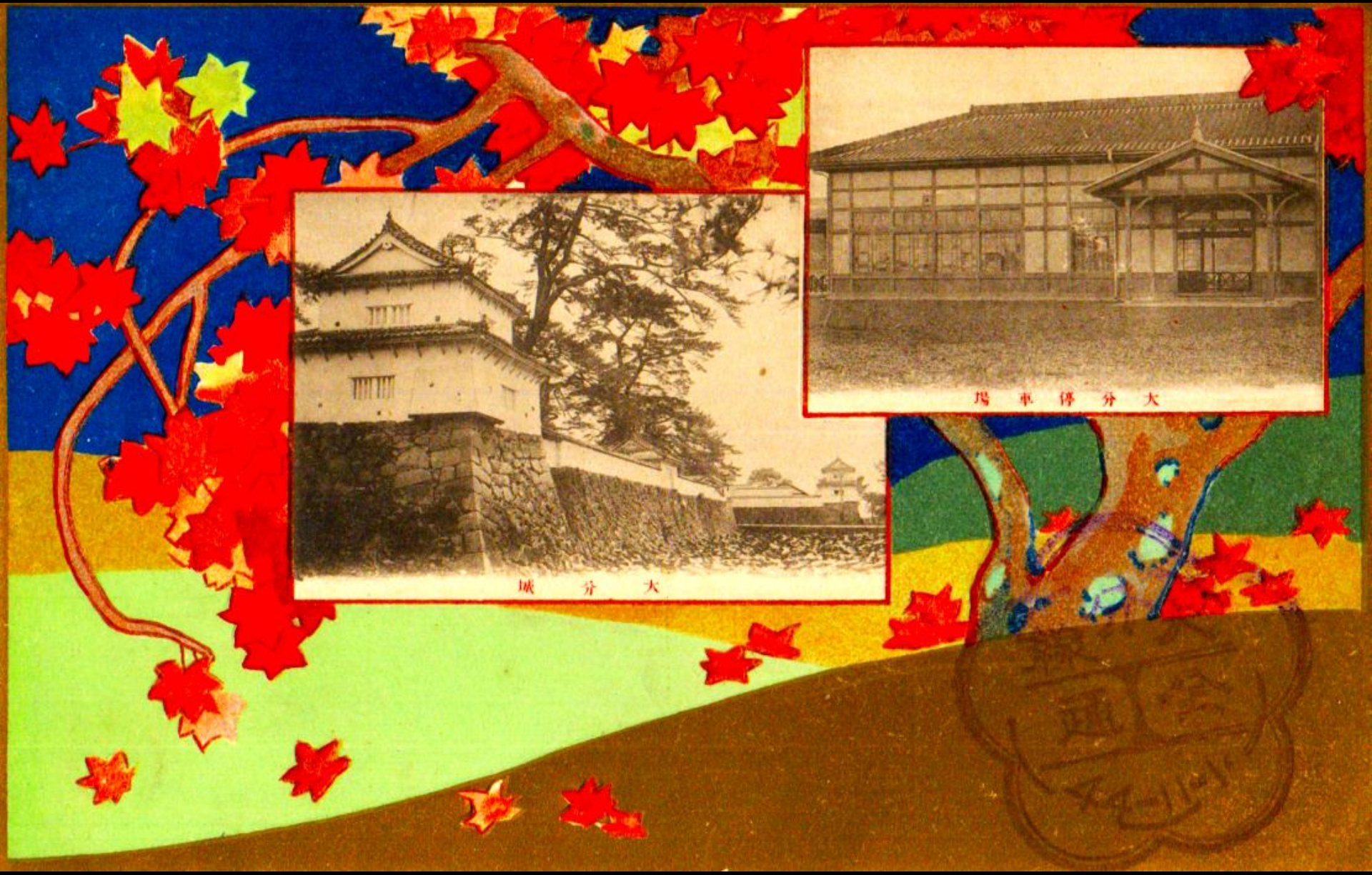
大分駅附近から見た昭和初期の大分市街

大分貯蓄銀行

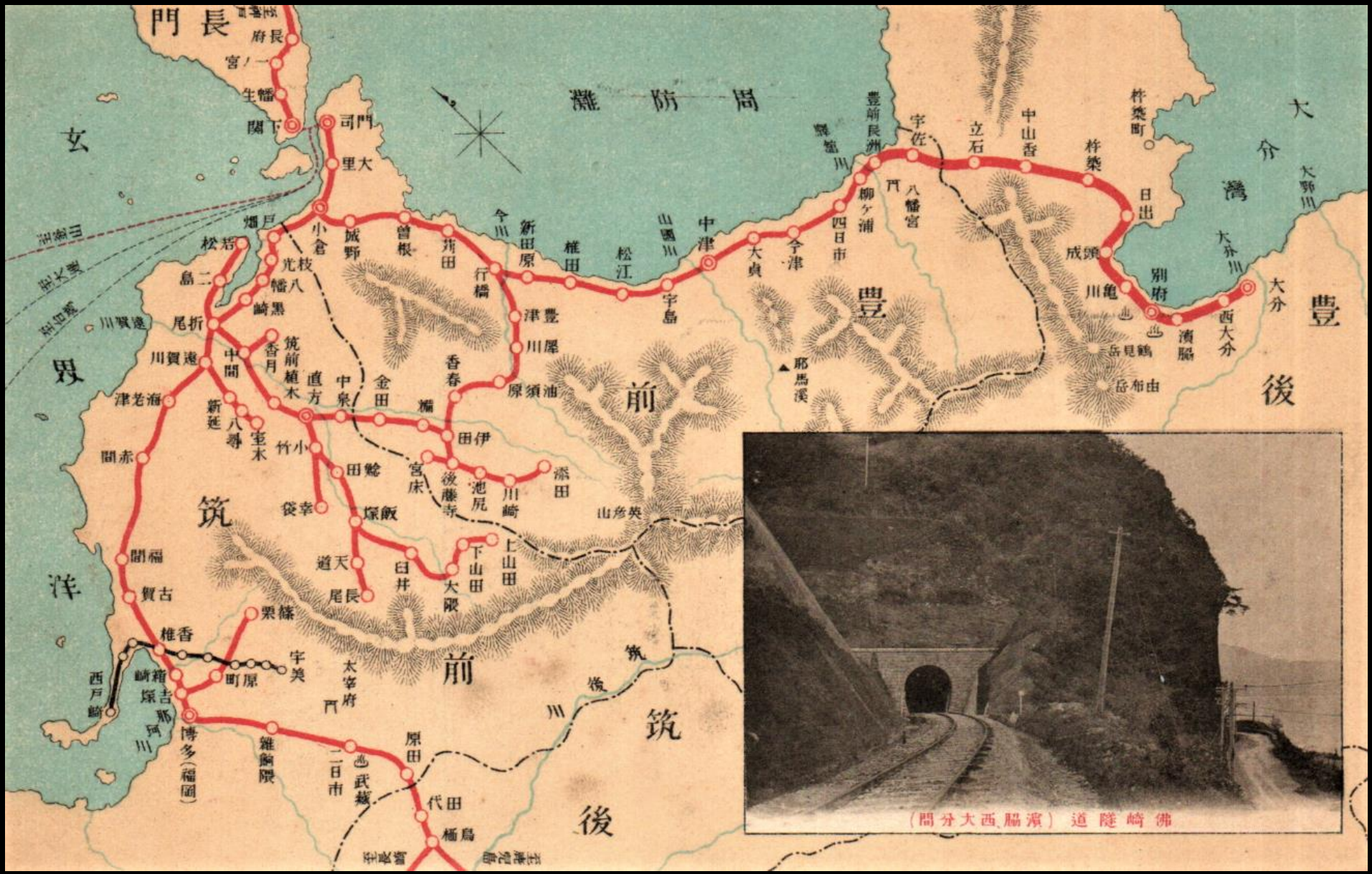
大分合同銀行
（大分銀行赤レンガ館）

大分ビル
後の日本銀行

大分駅(停車場)開業記念　1911年(明治44年)



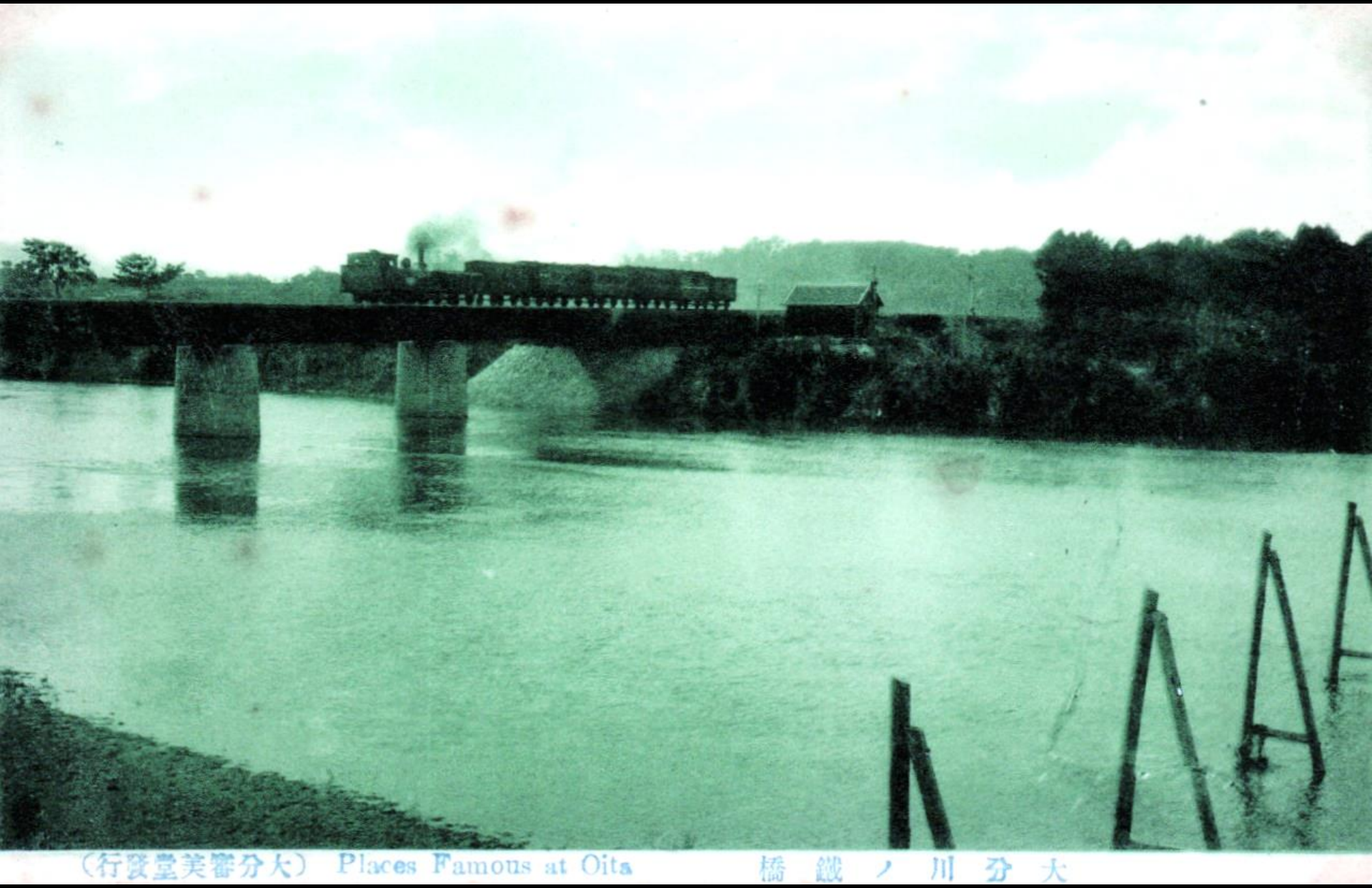
鉄道大分線開通　1911年（明治44年）



佛崎隧道（濱脇西大分間）

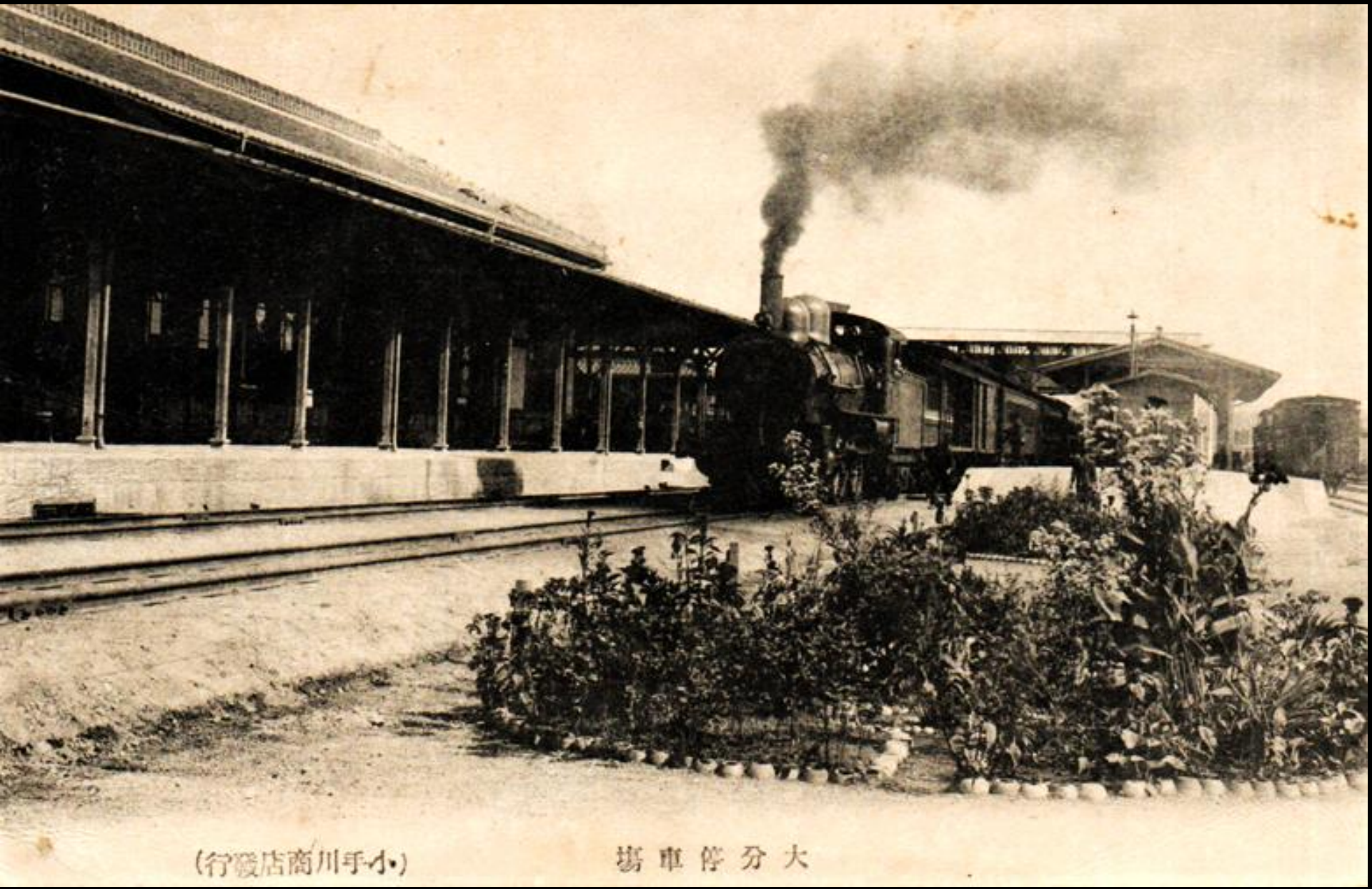
仏崎隧道（トンネル）を走る機関車

大分川鉄橋（大正期）



現在の大分川鉄橋

大分駅(停車場)



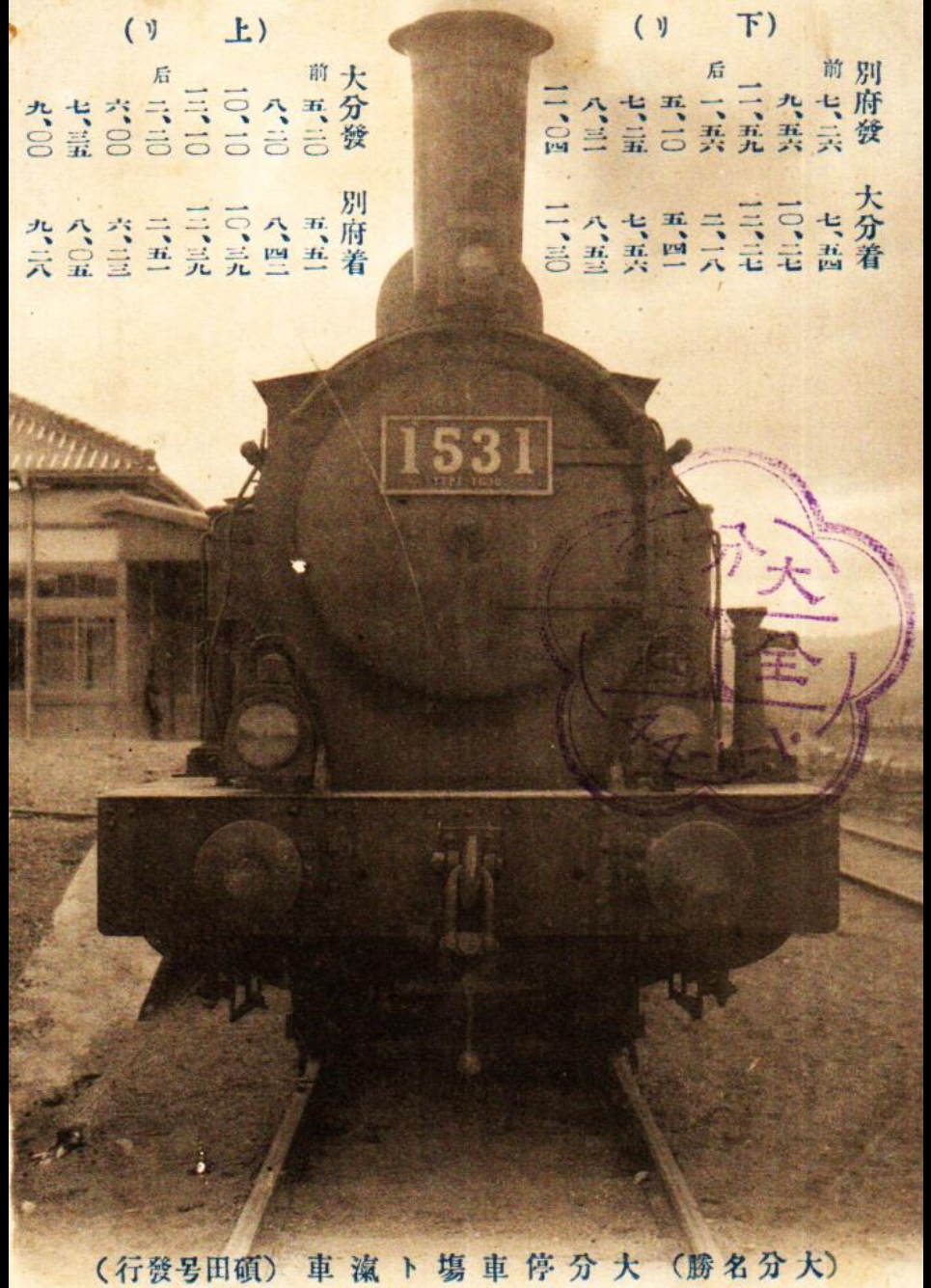
←(瀛車發着時間表)→

(下リ)

別府發	大分着
前 七、二六	七、五四
九、五六	一〇、二七
一二、五九	二、一八
后 一、五六	五、四一
五、一〇	七、五六
七、二五	八、五三
八、三一	一一、三〇
一二、〇四	

(上リ)

大分發	別府着
前 五、二〇	五、五一
八、二〇	八、四二
一〇、一〇	一〇、三九
一二、一〇	一二、三九
后 二、二〇	二、五一
六、〇〇	六、二三
七、三五	八、〇五
九、〇〇	九、二八



(大分名勝) 大分停車場ト瀛車 (碩田号發行)

大分駅（大正期） 左端に人力車の列

夫婦クスノキと駅前広場 （昭和10年代）

大分駅前　朝倉文夫制作像（昭和40年代）

大分駅前のワシントニアパーム

現在の大分駅　アミュプラザおおいた

駅前広場と大分パルコ（昭和50年代）

現在の大分駅前のバス停ロータリー

復活した大分駅のクスノキ

大分駅「クスノキ」の由来

明治四十四年大分駅開業を記念して二本のクスノキが大分駅の玄関に植えられました。その後、戦時中の空襲に耐えながらも大きく育ち、その木陰は市民の憩いの場となりました。しかし、昭和三十三年に駅ビルの新築工事が行われ、昭和三十九年八月、大分駅の更なる改良工事により、残念ながら伐木されることになりました。

一本のクスノキは、鉄道神社と大分駅長室にある翁の面として残り、残念ながらもう一本は処分されたと言い伝えられておりました。

しかし、その後五十余年の年月を経て現存を確認、所有されていた篤志家の手により大事に育て続けられ、平成二十七年に無事駅前広場へ戻されたのです。

当時大分駅の象徴として高く聳えたクスノキが再び駅前に戻り、これからも歴史の目撃者として、そしてまた幸せな暮らしを思い願う市民のシンボルツリーとして、ここに永く根ざすことを願っています。

令和四年三月　九州旅客鉄道株式会社　大分駅長

現在の大分駅前広場とクスノキ

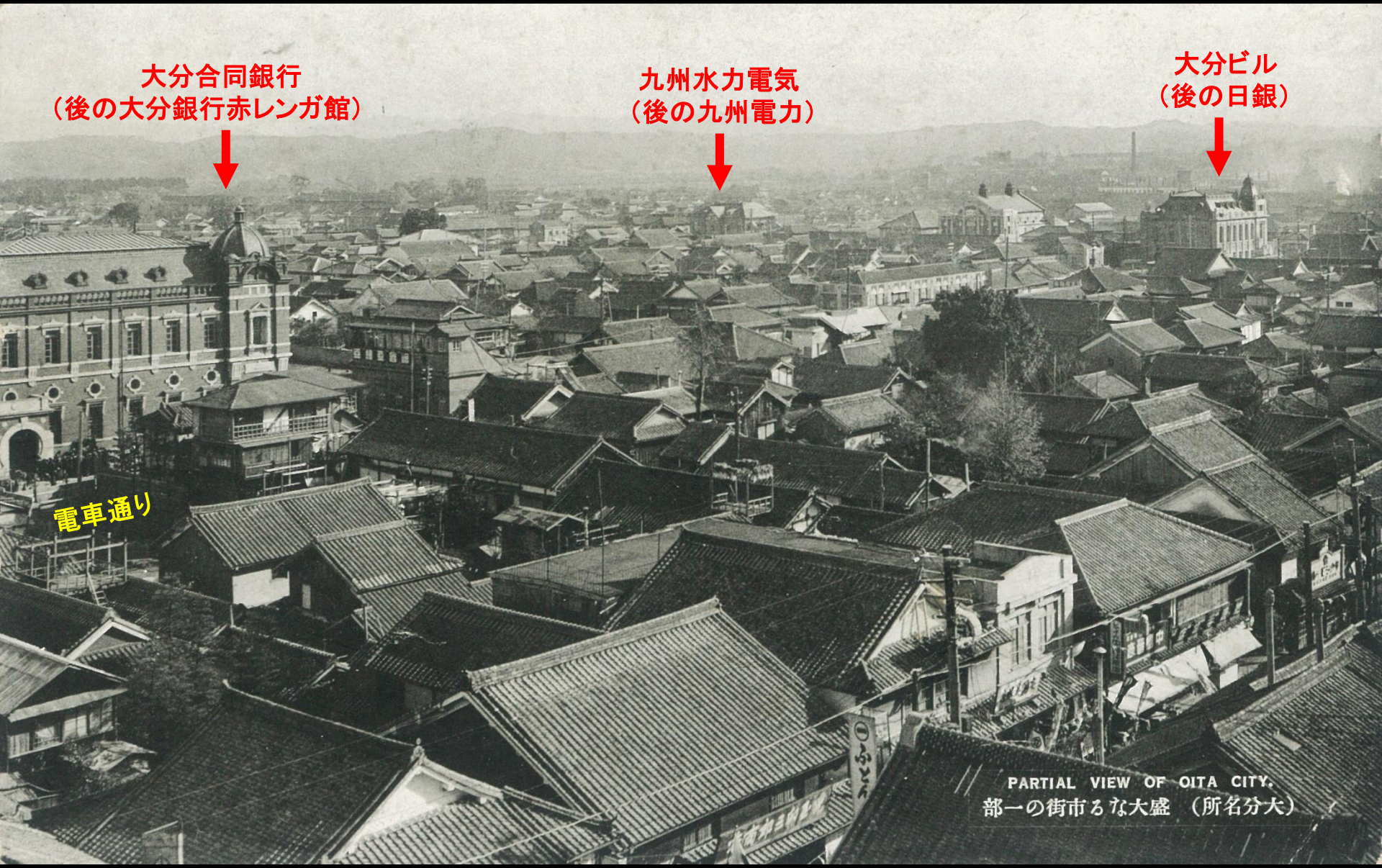
駅前のイルミネーション

おおいた光のファンタジー（11月～2月）

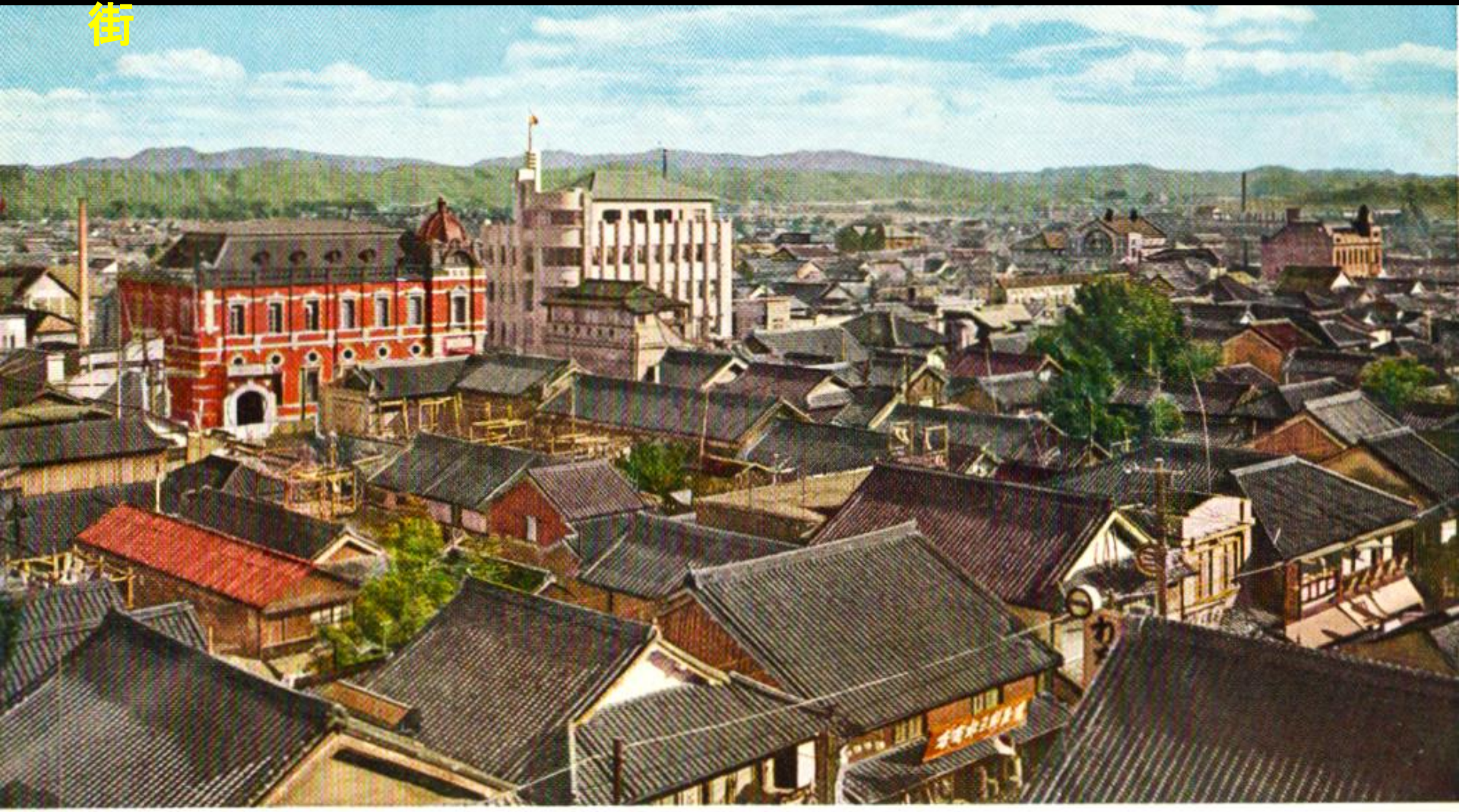
竹町2丁目の一丸デパート屋上から見た、昭和初期の大分市街

NTT府内ビル別館（旧大分電話局）現在取り壊し中

竹町2丁目の一丸デパート屋上から見た、昭和初期の大分市街



竹町2丁目の一丸デパート屋上から見た、昭和11年頃の大分市街



Bird's-eye View of Oita City

「大分」市街の一部

天與豊饒の國土として昔より豊の國の名ある大分縣
の首邑大分市は戰國の俊傑大友宗麟の都城地として早
くから開け今は東九州の一大中心地として榮えてゐる。

昭和初期の電車通り（中央通り）

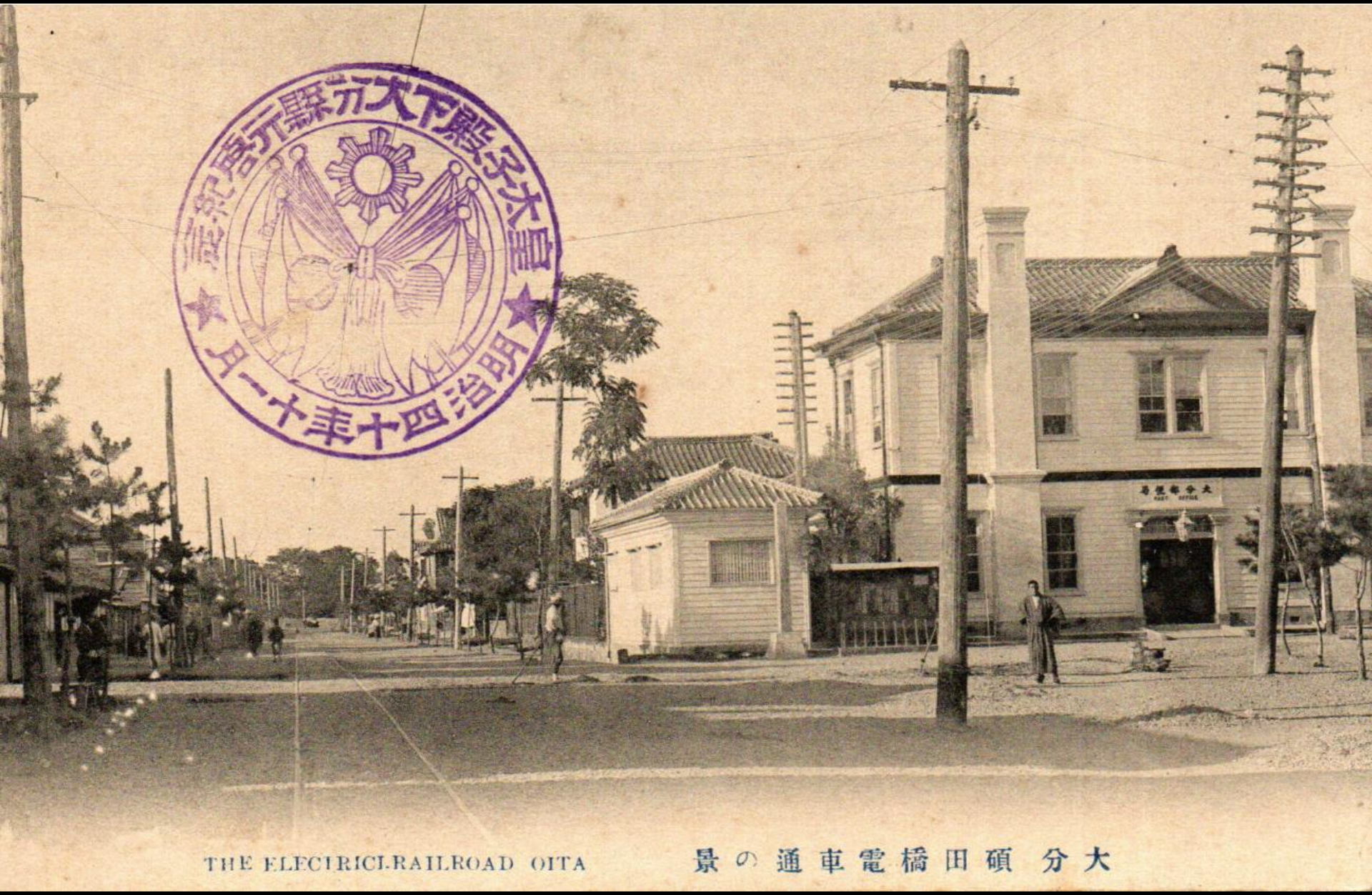
Densha-dori Street, Oita

【大分】電車通

大分市の中央を貫通する電車通はそのメインストリートとして街の両側には所謂大廈高楼櫛比して電車に自動車絡繹として交通頻繁，洵に殷盛である。

現在の中央通り

行啓記念　明治40年（1907年）頃の電車通り（現在の中央通り）



41　中央の線路は明治33年（1900年）に開通した別大電車　右手前は大分郵便局

大正初期の電車通り　左手前から大分新聞社、大分郵便局、二十三銀行

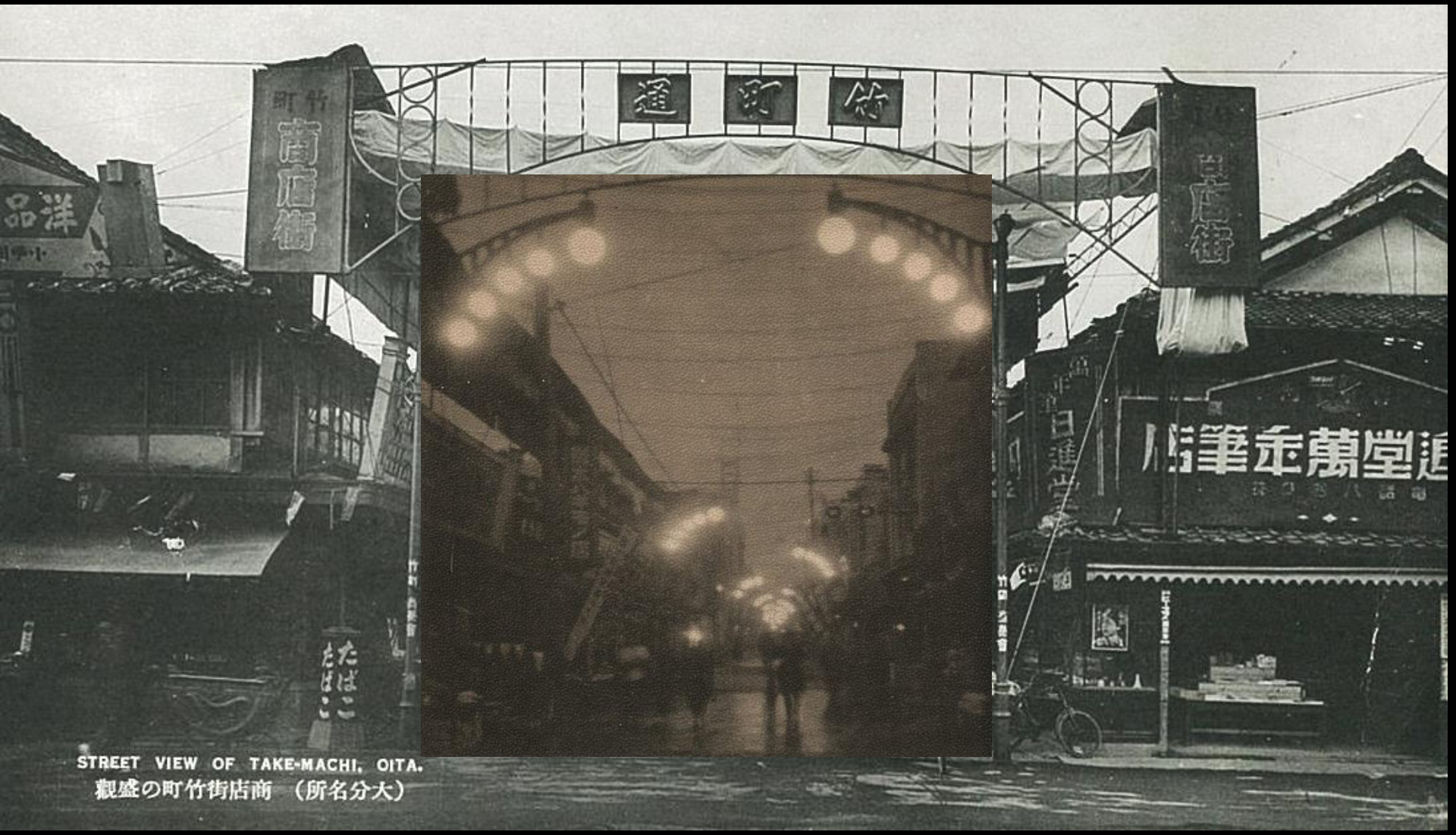
大正初期の電車通り（中央通り）右側は竹町通り入口

現在の風景（大分市中央通り）

1907年（明治40年）頃の竹町通り　電信柱を建設中

大正初期の竹町通り入口　電信柱が完成

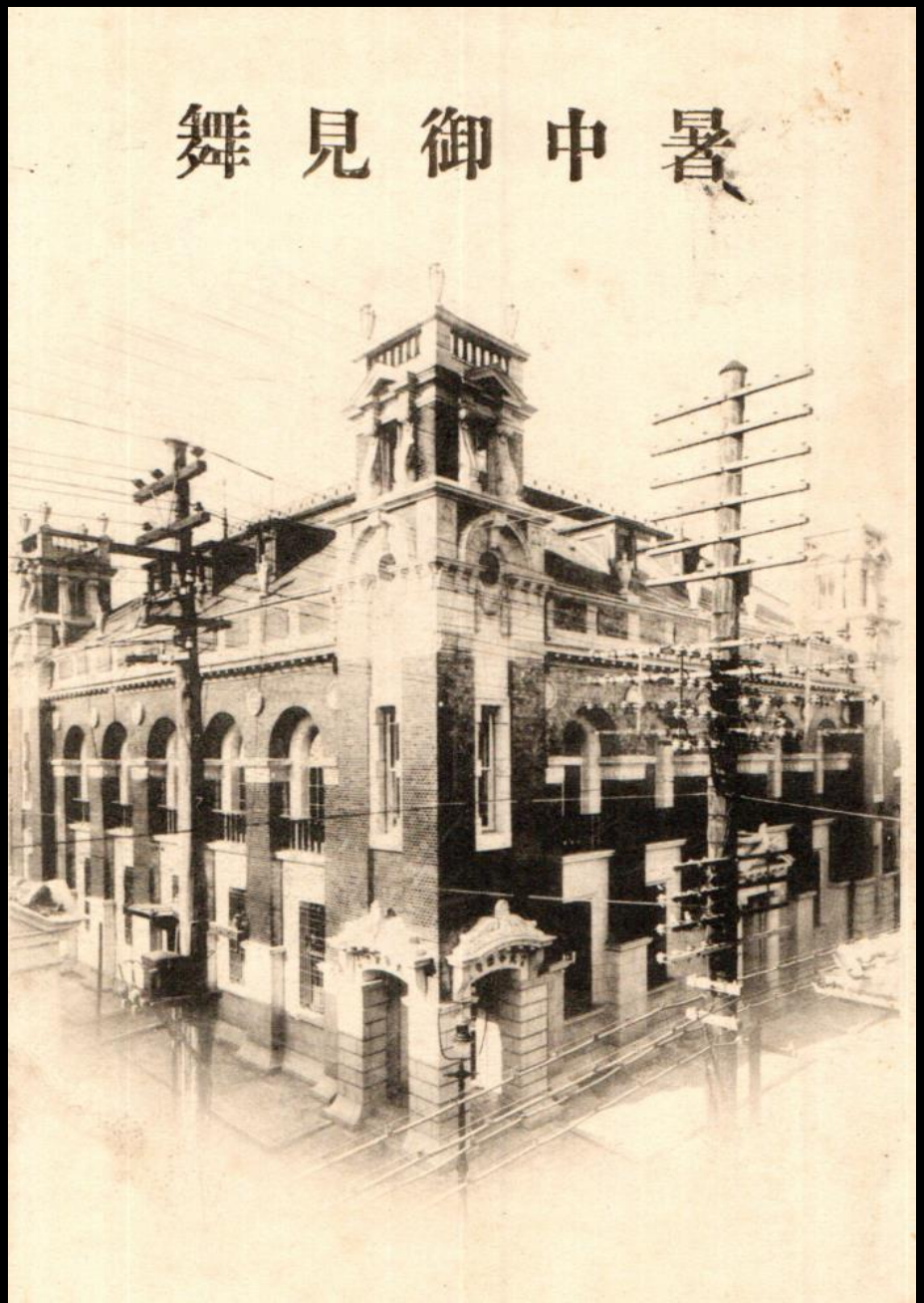
昭和9年頃の竹町通り（天幕とスズラン灯が設置）



昭和10年代の竹町通り　アーケードが設置される

昭和10年代の竹町通り （AIによるカラー化）

竹町2丁目の一丸デパート・大分銀行竹町店（大分貯蓄銀行）



大正時代の竹町通り （AIによるカラー化）

現在の竹町通り（ガレリア竹町）入口

1938年（昭和13年）頃の電車通り（中央通り）

昭和30年代の電車通り（中央通り）

現在の中央通り

昭和初期の電車通り（中央通り）

大正期の大分農工銀行（後のみずほ銀行大分支店）

現在のみずほ銀行大分支店

大正期の電車通り（中央通り） カフェーサンパウロ

（大分名勝）　電車通り　（文化屋發行）

カフェー店内　大分高等商業学校卒業写真帖より

キムラヤ　大分高等商業学校卒業写真帖より

電車通りの金洋堂書店　大分高等商業学校卒業写真帖より

県庁と気象台があった府内城（明治期）

県教育会館、大分市役所、お堀の蓮花（昭和初期）

北原白秋の歌

はくちじょう
白雉城 お濠の蓮の ほの紅に
朝眼よろしも 妻のふるさと

大分城址公園にある白秋の

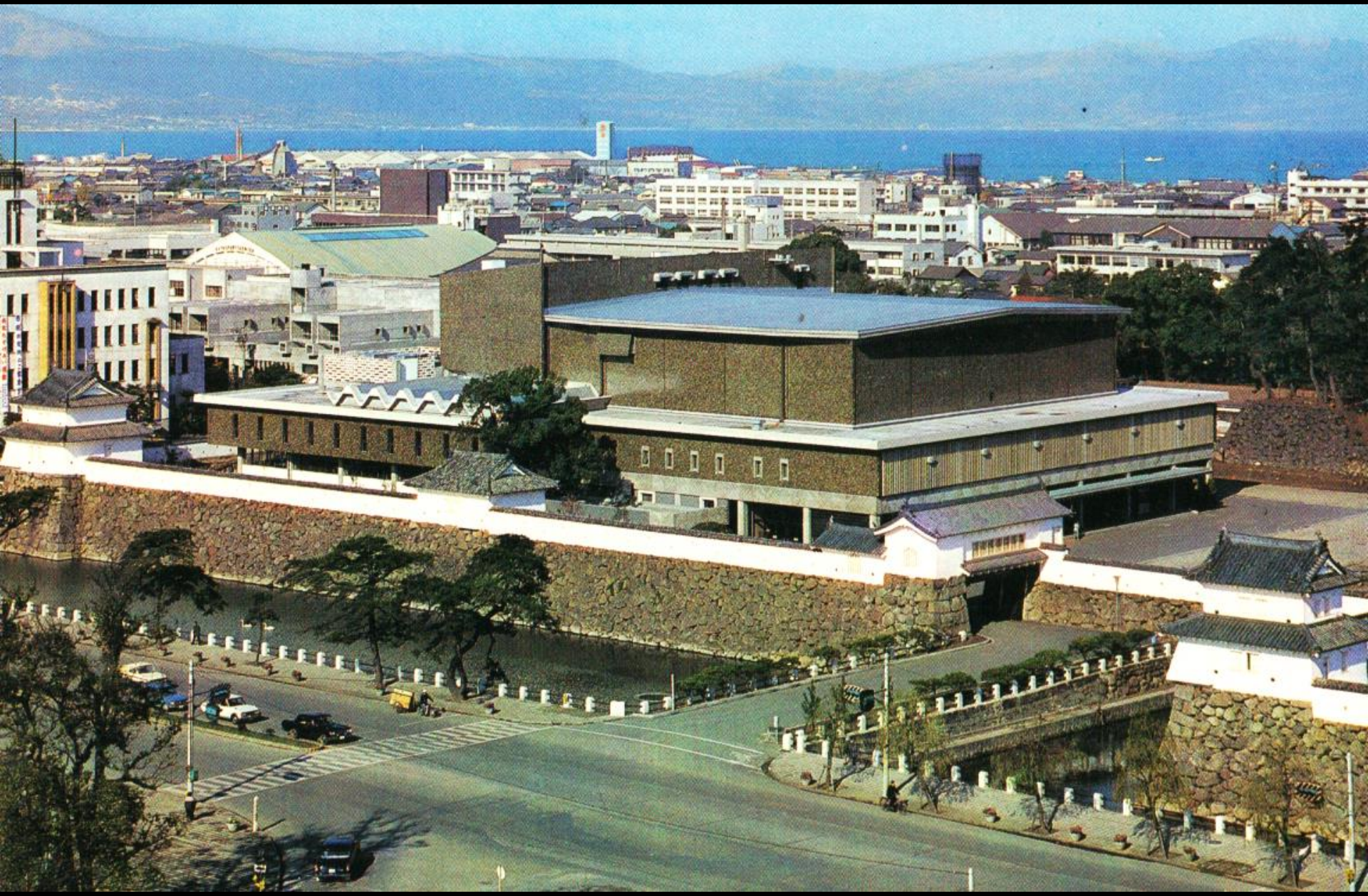
府内城着到櫓から見た大正時代の風景

府内城着到櫓から見た大正時代の風景（大分県議事堂）

現在の府内城　松並木が保存整備される

昭和30年代の大分県庁と府内城

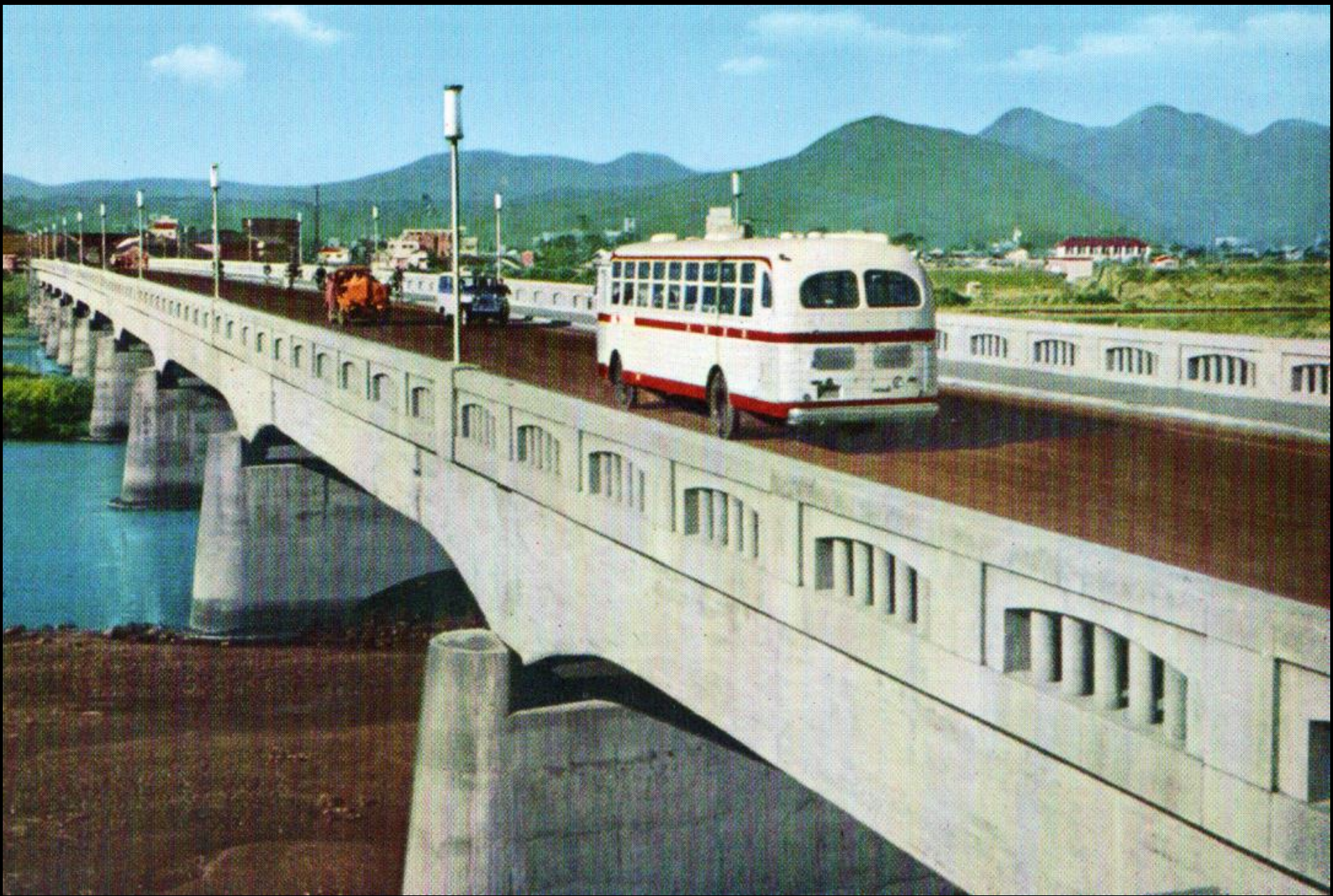
大分文化会館　1966～2013年（昭和41年～平成25年）



戦前の舞鶴橋（大正期）

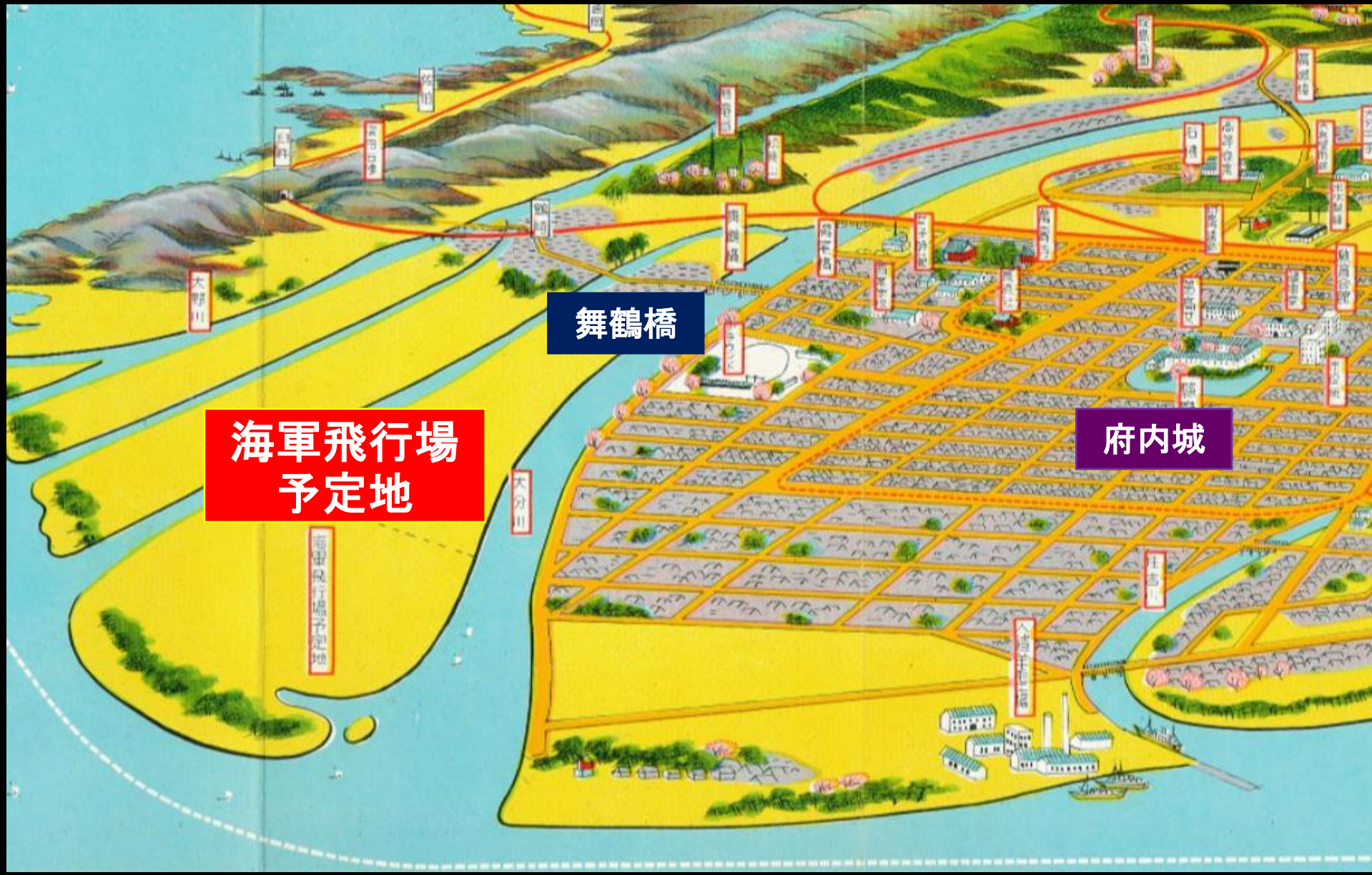
Prospect River Oita Form Maiduru Brdgie At Oita
ムヨリ橋鶴舞チ川分大ヨリ大分川チ望ム
（大分名所）

舞鶴橋（昭和30年代）



現在の舞鶴橋

旧大分空港の前身：大分海軍飛行場（現在の大洲運動公園）



大分市鳥瞰図：海陸四通八達の大分市　大分市役所（昭和12年）

大分海軍航空隊竣工記念　1938年（昭和13年）

（※）昭和19年（1944年）に日本映画「雷撃隊出動」のロケ地となる。

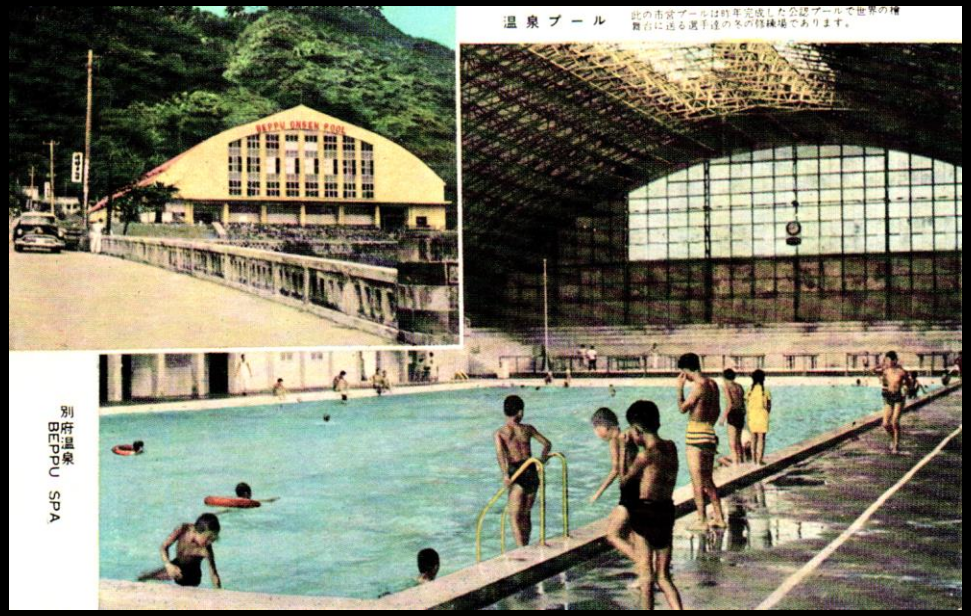
艦上攻撃機　臼杵号　（報国第3088号）

旧大分空港　昭和30年代　（現在の大洲運動公園）

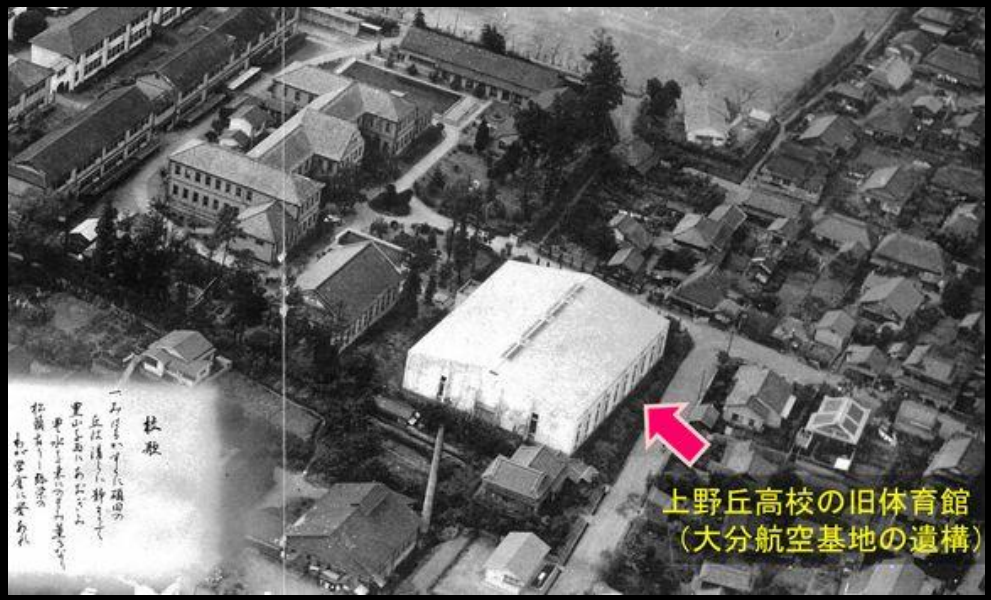
旧大分空港と大分市街　昭和40年（1965年）

県都直近の空港として、九州第3位の旅客数を誇った

大分航空隊の施設（格納庫など）が戦後再利用された例

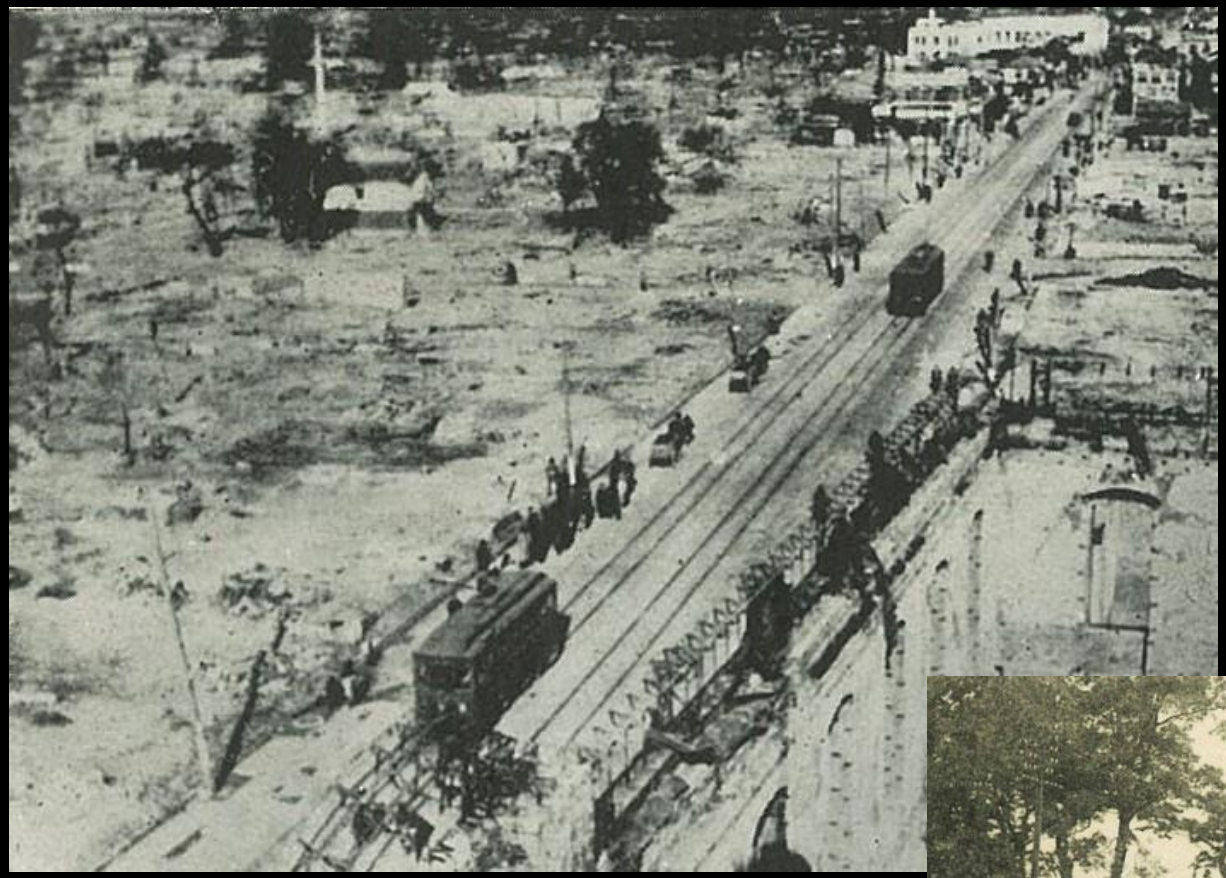


別府市温泉プール



大分上野丘高校体育館

オアシスタワーより望む大分市街 （現在）

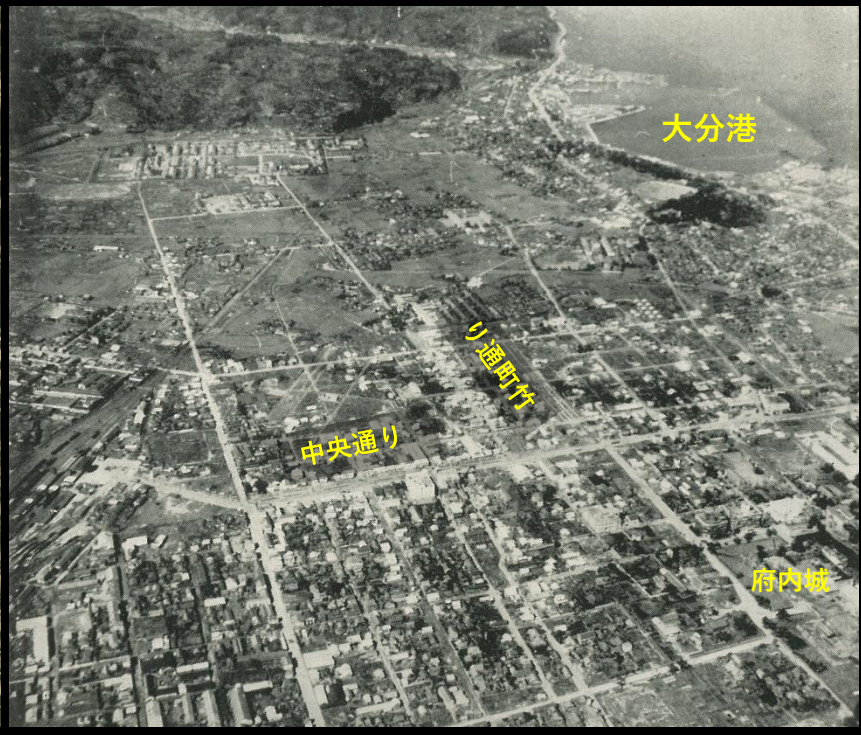


昭和20年7月の大分空襲後　電車通りを含めて市街大半が消失
大分市勢要覧（昭和25年）より

空襲で荒廃した府内城　大分経済専門学校写真帖（昭和24年）

戦前（昭和8年）

戦後（昭和23年）



参　考

「昭和館アーカイブ」というサイトにて、昭和21年（1946年）に米軍が撮影した昭和21年4月の大分市街の風景や空撮のカラー動画が紹介されています。

https://search.showakan.go.jp/

検索画面で、「大分」などと入力して見てみて下さい。

風景今昔の写真を次の世代へ

『人間というのは、自分の一生でないことを考えることによって、
結局のところ正しい判断ができる』 高坂 正堯（経済学者）

『知らないものは見えない』 医学の格言

『伝統は日に新たに救い出さなければ、無いものなのである』
小林 秀雄（評論家）

ご清聴、誠にありがとうございました